

四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート

【平成30年度（下半期）】

1	連携分野	P. 1
2	農業分野	P.12
3	林業分野	P.21
4	水産業分野	P.27
5	商工業分野	P.30
6	観光分野	P.33

平成31年度「産業振興計画」関連予算額

農業分野	744,433千円
林業分野	215,967千円
水産業分野	8,279千円
商工業分野	1,099,832千円
観光分野	235,114千円
産業振興推進総合支援 事業費補助金	8,000千円
計	2,311,625千円

総額 23.1 億円

分野	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容					
連携分野					
1 地産地消の促進					
1. 地域産品の利用と販売促進					
【連携AP1】 (1) 地域産品の利用と販売促進					
★地元消費拡大フェアの開催 《農業12、林業20、水産13、 商工4》 ◎地元農畜産物の公共施設での利用促進 《農業12・16》 ★地元農畜産物の利用促進に向けた連携 ネットワーク形成 《農業12》	○農産物ブランド化事業 (しまんと農法米、40010日プロジェクト) (実施主体: 高知県農業協同組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 7月 農産物ブランド化事業補助金交付決定 (補助金額222千円) 事業内容: 販促用リーフレット、専用デザイン箱の作成 食味コンテストへの出品 10月～11月 食味コンテストへの出品 10月～3月 ウルトラマラソンでの商品等PR 市内イベントでの出店 (産業祭等) ふるさと納税返礼品登録 ○第2回四万十市産業祭 (来場者20,000人) (実施主体: 四万十市産業祭実行委員会) 11月 地元産品の販売、ステージ・体験イベントなど 土佐の豊穰祭協賛 ○四万十うまいもの商店街 (来客者6,374人) 11月 西土佐地域を中心にうまいものを一堂に集め販売 ○しまんと農法米の推進 (40010日プロジェクト) 地方創生推進交付金を活用 7月 プロジェクトサイト作成委託 2月 宣伝用資材購入 ○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅 「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用 ・旬の産品フェアを毎月開催 4月 よっておきゃく 5月 新たたま祭り 6月 鮎まつり 7月 夏なりものまつり 8月 41℃フェア、なすふえす 9月 栗×カニ合戦 10月 西土佐の新米とご飯のお友まつり 11月 柚の香まつり 12月 冬の感謝祭 1月 シシいたけまつり 2月 新酒のんDEみそ 3月 3周年だよ! よっておきゃく(予定) ・産地化促進講習会 7、12月 栽培講習会 11月 発酵食品とスパイス講座開催 2月 加工品開発ワークショップ開催(開催後に事業者と個別対応) 3月 他直売所施設視察研修 ○西土佐地域地産地消推進協議会 5月 協議会 6月 レンタルハウス巡回指導 7月 栽培講習会 11、2月 協議会 12月 果樹剪定講習会 1月 スクールミールにしとさ給食試食会	四万十市 (農林水産課・観光商 工課・産業建設課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆地域産品への関心と利用 意識が高まっている ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人 H28:— H29:1,500人 H30:20,000人 ◆学校給食への市内農産物 (野菜類)の供給率 H26:64.8% → H31:50% H27:62.6% H28:43.3% H29:35.2%		【農業分野】 ○農産物ブランド化事業 (四万十農法米普及促進) 農 260千円 (事業主体: JA高知はた) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・販促活動旅費 ・販促用資材製作費 ・試験栽培用肥料購入費 ○農産物ブランド化事業 (四万十農法米普及促進) 農 188千円 ・東京での商談会等への参加 ○環境にやさしい農業のための研究会 — ・学校給食に農産物供給 ・物産展等へ出展PR ○西土佐地域地産地消推進協議会の開催 — ・公共施設への食材提供、生産者への栽培講習等に ついて協議し年間計画を策定 【商工業分野】 ○西土佐産業祭の開催 商 742千円 ○道の駅よって西土佐で旬の産品フェアを毎月開催 —
◎有機農産物の流通促進 《農業16》	○環境にやさしい農業のための研究会 4月～ 学校給食に農産物供給 5月 公家行列(物産市)へ出展、PR 11月 四万十市産業祭へ出店しPR				
○公共建築物の木造化・木質化の促進 《林業18》	○H30建築計画 ・川崎保育所 2月完成予定 184.33㎡ ・具同小学校学童保育施設 3月完成予定 38.16㎡		◆市産材利用促進事業の着 工件数 → H31:30戸/年 H27:34戸/年 H28:30戸/年 H29:23戸/年		【林業分野】 ○H30建築計画 — ・中村南小学校学童保育施設 42.36㎡ (想定量) ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 林 200千円 ・高知県木造住宅フェアへ出展PR 予定
◎木造住宅建築への支援 《林業19》	○市産材利用促進事業 申請件数: 22件 (1月末現在) 年間見込25件程度				

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要						
						連携分野					
						<p>★木材流通ネットワークの構築とコーディネート組織の設立 《林業17、林業19》</p> <p>◎木造化、木質化への情報発信、普及・啓発の強化《林業20》</p> <p>◎林地残材等の搬出の促進 《林業21》</p> <p>◎木質バイオマスボイラー等の普及促進《林業22》</p>	<p>○幡多流域林業活性化センター 7月 通常総会ほか ・会員:26団体(素材生産・加工・流通事業者、建築団体、関係行政機関) ・林業生産性の向上、林業技術者の確保・育成、製材・加工・流通事業者、利用者(建築等)間の連携促進 ・各素材生産者の目標値設定(幡多地域の原木生産量把握) ・架線(センイロープ)集材研修</p> <p>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 宿泊者 50組 延べ261名宿泊(1月末現在) 見学者 240名</p> <p>○フェア等への参加 10月 ・高知もくもくランド2018秋まつり (主催:高知県木材普及推進協会、高知県) (出店:四万十ヒノキブランド化推進協議会) 四万十ヒノキのPR ・「幡多山もりフェス2018」 (主催:幡多山もりフェス実行委員会) (出店:株式会社かわらっこ)</p> <p>○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行7件(うち公共事業関係3件) 1月末:325㎡</p>				<p>○幡多流域林業活性化センター負担金 林 85千円 ・林業生産性の向上、林業技術者の確保・育成、製材・加工・流通事業者、利用者(建築等)間の連携促進</p> <p>○市産材利用促進事業(補助金) 林 15,000千円 ・年間利用件数見込み:30件</p> <p>○宿泊体験型モデルハウス管理費 林 324千円 ・「四万十ヒノキの家」での見学、宿泊体験の実施</p> <p>○フェア等の開催 - ・「幡多山もりフェス2019」開催予定</p> <p>○個人の皆伐を経営計画に組み込み林地残材の有効利用を促進 -</p> <p>○林地残材の搬出促進 - ・バイオマス証明書発行</p>
						<p>◎漁協の販売機能の強化 《水産12》</p>	<p>○地産外商活動 ・あゆ市場出店 9月 北の恵み食べマルシェ2018(旭川市) 10月 おさかなまつり 11月 フェスティバル土佐ふるさとまつり、枚方市友好都市物産展 12月 高知大丸冬の味覚祭 3月 高知大丸春の味覚祭</p> <p>○地域おこし協力隊の配置 ・あゆ市場拠点に1名配置 9月 HACCP研修(2日間)受講 1月 外食力アップ勉強会 2月 食品添加物勉強会、外食力アップ相談会</p>		◆漁業協同組合の販売機能 H31:強化		<p>【水産分野】</p> <p>○地域おこし協力隊経費 水 3,409千円 ・あゆ市場拠点 1名配置</p> <p>【商工業分野】</p> <p>○地産外商促進事業(西土佐地域出展関係) 商 592千円 ・ふるさとまつり ・枚方物産展 ・大丸フェア春、冬 ・ビールトロッコ</p>
<p>【連携AP2】 (2)地域産品の販売拠点づくり</p>											
<p>★地産地消認証店制度 《農業12、水産13、商工4・6》</p> <p>◎市内量販店等を拠点とした販路拡大 《農業12》</p> <p>★土佐銀行跡地活用による拠点整備 《商工10》</p> <p>○物産館サンリバー四万十との連携 《商工10》</p> <p>◎いちじょこさん市場(食の交流拠点)の機能強化 《商工10》</p> <p>★東下町会館の改築による拠点機能の強化 《商工10》</p>	<p>○商店街活性化モデル事業(900千円) 事業主体:中村商工会議所 5月 公家行列及び地域産品の販売PRを支援</p> <p>○旧土佐銀行跡地開発事業 ・中心市街地商業活性化診断・サポート事業導入 実施設計補助 5,400千円 ・四万十市中心商店街活性化協議会を設立し、拠点施設を活用した中心市街地の活性化策について検討</p> <p>○よさこい四万十2018 9月 市内6ヶ所(天神橋商店街、一条通商店街、東下町商店街、中村病院駐車場、中村駅構内、不破八幡宮周辺)</p> <p>○まちづくり四万十株主総会 6月 いちじょこさん市場の今後の事業展開等について検討 ・地元食材、旬の食材を活用した標品の製造、加工販売 ・産直部門の品揃え強化や高齢農家、中山間農家支援のための野菜などの集出荷 ・地域の各種イベントなどに積極的な販売促進の実施 ・各種交流イベントの実施 ・収益力の向上等</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課)</p> <p>関係団体・組織 事業者 生産者</p>	<p>◆市内の様々な販売拠点において、地域産品の利用、販売が促進されている。</p> <p>◆商店街通行者数(平日) H22~H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日 H30:6,208人/日</p> <p>◆農林水産物等直販所販売額 H25:11億5,600万円 → H31:13億円 H26:11億8,900万円 H27:12億3,600万円 H28:13億0,800万円</p>		<p>【農業分野】</p> <p>○農林水産物直販所「安心係」養成講習会への参加 - ・情報発信、農産物管理、農業適正使用、食品表示、衛生管理講習</p> <p>【商工業分野】</p> <p>○商店街活性化モデル事業 商 900千円 事業主体:中村商工会議所 ・公家行列及び地域産品の販売PRを支援</p> <p>○旧土佐銀行跡地開発事業 商 28,778千円 事業主体:四万十にぎわい商店株式会社 ・施工監理補助 1,423千円 ・建築工事補助:16,614千円 ・備品購入補助:7,253千円 ・雨除壁等撤去工事:3,488千円 ※市が実施主体</p> <p>○地域おこし協力隊起業補助金(1名分) 商 1,000千円 ・地域おこし協力隊終了者の起業への支援</p> <p>○集落活動センター事業 - (実施主体:大宮集落活動センター)</p>						

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
連携テーマ						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
連携分野						
2	○直販所の拠点機能の強化 《農業13、商工18》 ★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化 《農業13、商工10・18》 ◎拠点ビジネスの推進 《商工18》	○東下町会館の改修 (実施主体：東下町商店街振興組合) 実施主体の自己資金で老朽化部分を改修予定 ○農林水産物直販所「安心係」養成講習会 7月 養成講習会へ参加 情報発信、農産物管理、農薬適正使用、表示、衛生管理講習 ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん株式会社) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 5～1月 ぶしゅかん集荷場施設整備(8月一部整備完了) (選果用選別台導入、HACCP対策の防虫対策等) 【再掲】 ○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用 ・HACCP導入に向けて研修を受講(9月) 今年度中の第2ステージ取得が目標 ・食品表示研修の受講 9月 応用編を受講 11月 専門編(一括表示)を受講 2月 専門編(栄養成分表示)を受講 ・食品添加物勉強会(2月) ○集落活動センター事業 (実施主体：大宮集落活動センター) 4月～ 地域資源や特性を活かした産業づくり 軽食・配食サービス、講演会、視察受け入れ等		◆道の駅「よって西土佐」 入込客数 H31:13万人 H28:17.9万人 H29:16.2万人		
		★新文化複合施設を中心とするまちの賑わいづくり 《商工10》	○文化複合施設整備事業 ・文化複合施設基本計画策定業務 4、5月 委託業者選定委員会 5月 業務委託契約締結 7、9、11月 市民ワークショップ 7、9、12、2月 文化複合施設整備検討委員会 ・複合施設整備研究会(5、10、12月) ・基本計画(素案)パブリックコメント(12月～1月) ・住民説明会(施設整備事業の概要説明とパブコメに関する説明) 12月 中村地域(公民館:45名) 西土佐地域(ふれあいホール:11名) ・文化複合施設整備検討委員会から市長へ提言書を提出 ・基本計画策定(3月)			【商工業分野】 ○文化複合施設整備事業 商 133,067千円 ・文化複合施設基本設計委託業務(86,185千円) ・管理運営基本計画策定支援業務(7,718千円) ・四万十市文化複合施設(仮称)整備に係る用地測量業務(17,226千円) ・中央公民館周辺家屋事前調査業務(10,241千円) ・複合施設整備物件補償調査業務(9,691千円) ・都市計画決定用図面作成業務(371千円) ・複合施設整備不動産鑑定業務(1,257千円) ・都市計画事業認可申請用図書作成業務(378千円)
		★新食肉センターを核とした地域産業の振興 《農業14、商工18》	○新食肉センター整備事業 ・新食肉センター整備検討委員会4回：5、7、12月(2回) ・関係業者合同ヒアリング5回：4、5、6、8、11月 ・食肉センター経営健全化検討委員会5回：5、8、10月(2回)、1月 ・新食肉センター基本計画策定業務(30年度完成予定)			【商工業分野】 ○新食肉センター整備推進 商 18,618千円 ・用地測量(7,788千円) ・業務手法検討業務(10,830千円)
2 地産外商の推進						
1. 商品開発と磨き上げ						
【連携AP3】 (1) 地元農畜産物を使った商品開発						
	◎戦略品目のブランド化 《農業14》 ★40010日プロジェクト 《農業14》	○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 ・PR活動 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン(東京都中央区:まるごと高知) 幡多バル西新宿店1周年記念青果PR 10月 幡多バル高知本店1周年記念青果PR	四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課) JA高知県 事業者 生産者	◆四万十ブランドの確立や加工商品開発による高付加価値化が図られ、安定した農業経営につながっている		【農業分野】 ○ぶしゅかん産地化推進事業 農 4,571千円 地方創生推進交付金を活用 ・新規定植(苗代への補助) 2,000本 400a ・有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助) 1,500m ・栽培指導等業務委託
	○地元農畜産物を使った商品の開発	・生産者支援(産地化促進)		◆ぶしゅかん新植面積		生産量増加及び品質向上を目的とし生産者に植栽

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要						
						連携分野					
						《農業15》	8~10月 ぶしゅかん集出荷補助 (市内集荷量: 28t) 10月~ 新規定植 (苗代補助) 600本 120a 新規定植予定圃場現地確認 有害鳥獣対策用防護柵 (設置費補助)		H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha、H28:2.8ha H29:9.7ha H30:10.9ha ◆ぶしゅかん生産量 H26:13t → H31:54t H27:16t H28:22t H29:18t H30:28t ◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:42.5ha、H28:42.5ha H29:42.5ha ◆ゆず生産量 H26:445t → H31:445tを維持 H27:310t H28:486t H29:384t H30:300t (予定) ◆栗栽培面積 H26:39.5ha → H31:47ha H27:41.76ha H28:43.91ha H29:45.8ha ◆栗生産量 H26:15.1t → H31:60t H27:22.1t H28:26.1t H29:29.6t ◆四万十農法米栽培面積 H31:20ha H27:1.20ha H28:2.77ha H29:6.15ha H30:10.22ha ◆四万十農法米生産量 H31:88.4t H27:4.92t H28:11.94t H29:23.6t H30:33.21t ◆一次産品等を活かした新商品の開発 H31:15アイテム ※農畜産物加工品以外を含む H27:257アイテム H28:177アイテム H29:207アイテム		から収穫、出荷に至るまでの生産指導の業無委託 ・都市圏の百貨店等でぶしゅかんのブランディングキャンペーンの展開 ・キャンペーン用パンフレット、ポスター作成 ○ぶしゅかん産地化推進計画の策定 ・目標栽培面積・生産量、青玉の流通 (選果体制) ※市・振興センター・生産者組織・加工業者等で協議 ○地理的表示保護制度 (GI) 登録に向けた調査研究 ※地域で育まれた農産物の伝統と品質基準を守る証 (国が地域の特産品の「名称」を知的財産として保護) ○四万十ぶしゅかん(株)を主体に各種商談会、展示会、物産展 等での販路開拓・販売促進活動を展開 【再掲】 ○農産物ブランド化事業 (四万十農法米普及促進) 【260千円】 (事業主体: JA高知はた) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ・販促活動旅費 ・販促用資材製作費 ・試験栽培用肥料購入費 【再掲】 ○農産物ブランド化事業 (四万十農法米普及促進) 【188千円】 ・東京での商談会等への参加 ○栗暮プロジェクト 農 2,297千円 地方創生推進交付金を活用 ・栗園モデル事業 ・栗園の縮間伐技術指導 ・産地化促進補助 (苗木補助) ・水田転換推進事業 (平場新植推進) 【商工分野】 ○道の駅よって西土佐での商品開発推進 (実施主体: 榊西土佐ふるさと市)
						◎意欲的な生産者への支援 《農業15》	【再掲】 ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん株式会社) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 6~8月 ぶ耐ハイTV-CM展開 8~10月 県外飲食店への青果サンプリングキャンペーン ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体: 株式会社しまんと美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 9月~ 栗の集出荷、縮間伐、新改植、加工機器整備等 10月~ 栗の集出荷、縮間伐、新改植 ○栗暮プロジェクト 地方創生推進交付金を活用 水田転換(栗園へ転換) 0.5ha(予定) 苗木補助 1,200本(予定) 栽培技術講習会 2回(予定) 【再掲】 ○農産物ブランド化事業 (しまんと農法米、40010日プロジェクト) (実施主体: 高知県農業協同組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 7月 農産物ブランド化事業補助金交付決定 (補助金額222千円) 事業内容: 販促用リーフレット、専用デザイン箱の作成 食味コンテストへの出品 10月~11月 食味コンテストへの出品 10月~3月 ウルトラマラソンでの商品等PR 市内イベントでの出店 (産業祭等) ふるさと納税返礼品登録 【再掲】 ○しまんと農法米の推進 (40010日プロジェクト) 地方創生推進交付金を活用 7月 プロジェクトサイト作成委託 2月 宣伝用資材購入 【再掲】 ○地域商社「榊西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用 ・商品開発 ツガニカレー、米粉シフォンラスク、鮎燻製など6品目 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 ・食の発信冊子づくりに向けた検討 12、2月 (予定) 食文化の磨き上げ研究会開催 3月 食の発信冊子づくり				
★新食肉センターを核とした地域産業の振興 《農業14、商工18》	【再掲】 ○新食肉センター整備事業 ・新食肉センター整備検討委員会 4回: 5、7、12月 (2回) ・関係業者合同ヒアリング 5回: 4、5、6、8、11月 ・食肉センター経営健全化検討委員会 5回: 5、8、10月 (2回)、1月 ・新食肉センター基本計画策定業務 (30年度完成予定)				【商工業分野:再掲】 ○新食肉センター整備推進 【18,618千円】 ・用地測量 (7,788千円) ・業務手法検討業務 (10,830千円)						

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要						
						連携分野					
						【連携AP 4】 (2) 四万十ヒノキ製品の商品力強化					
						【連携AP 5】 (3) 水産物の高付加価値化					
<p>◎四万十ヒノキのブランド化の推進 《林業23》</p> <p>◎木材製品の生産拡大・商品力の強化 《林業13・24》</p> <p>★木工製品の生産拡大・商品力の強化 《林業14・24》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 宿泊者 50組 延べ261名宿泊 (1月末現在) 見学者 240名</p> <p>○四万十ヒノキブランド化推進協議会 4月 幹事会開催 6月 総会開催 8月 担当者会開催 11月 幹事会開催</p> <p>【再掲】</p> <p>○フェア等への参加 10月 ・高知もくもくランド2018秋まつり (主催:高知県木材普及推進協会、高知県) (出店:四万十ヒノキブランド化推進協議会 四万十ヒノキのPR ・「幡多山もりフェス2018」 (主催:幡多山もりフェス実行委員会) (出店:株式会社かわらっこ)</p> <p>○協働の森づくり (3企業…体験交流、四万十ヒノキPR) 11月 間伐体験 (株)清流メンテナンス 浅野環境ソリューション(株) 日鉄住金環境プラントソリューションズ(株)</p>	<p>四万十市 (農林水産課) 森林組合 四万十ヒノキブランド 化推進協議会 製材加工事業者</p>	<p>◆「四万十ヒノキ」として の知名度が向上し、ヒノキ 製品の生産が拡大している</p> <p>◆木材・木製品製造品出荷 額等 H24:7億5,000万円 → H31:8億円 H25:7億9,477万円 H26:8億3,330万円 H27:8億5,542万円</p>		<p>【林業分野】</p> <p>【再掲】</p> <p>○宿泊体験型モデルハウス管理費 【324千円】 ・「四万十ヒノキの家」での見学、宿泊体験の実施</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・ブランド化協議 ・「高知もくもくランド2019秋まつり」へ出展PR 予定</p> <p>【再掲】</p> <p>○フェア等の開催 ・「幡多山もりフェス2019」開催予定</p> <p>○協働の森づくり 林 192千円 ・3企業:体験交流、四万十ヒノキPR</p>						
<p>◎品質管理の向上 《水産10》</p> <p>★商品力の強化 《水産10》</p> <p>★未利用資源等の掘起しと利活用 《水産11・14》</p> <p>★新たな商品の企画・開発の支援 《水産11》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 ・食の発信冊子づくりに向けた検討 12、2月(予定) 食文化の磨き上げ研究会開催 3月 食の発信冊子づくり</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊の配置 (あゆ市場拠点に1名配置) 9月 HACCP研修(2日間)受講 1月 外商力アップ勉強会 2月 食品添加物勉強会、外商力アップ相談会</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商 工課・産業建設課) 漁業協同組合 事業者 生産者</p>	<p>◆安定した品質が確保さ れ、販売額の増加につな がっている</p> <p>◆一次産品等を活かした新 商品の開発 H31:15アイテム ※水産物加工品以外を含 む H27:257アイテム H28:177アイテム H29:207アイテム</p>		<p>【水産分野】</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊経費 【3,409千円】 ・あゆ市場拠点 1名配置</p>						
<p>【連携AP 6】 (4) 地域資源を活かした商品開発</p> <p>○事業者や地域グループ等の人材育成 《商工5》</p> <p>★商品開発、販路開拓の推進組 織の設 立・運営 《商工5》</p> <p>◎加工原料の安定確保に向けたマッ チングの促進 《商工1》</p> <p>◎事業者、地域等の提案を拾い上げる 体制強化 《商工2・16》</p>	<p>○地域おこし協力隊事業 ・地域振興関係5名配置 (8月より4名体制、奥屋内地区減員) 富山地区、大川筋・後川地区、須崎地区、奥屋内地区、 大宮地区にそれぞれ1名配置 ・産業振興関係4名配置 西土佐道の駅にて商品開発担当1名、デザイン担当1名を配置 鮎市場内水面漁業振興として鮎市場に1名配置 8月～農業振興担当として農業公社に1名配置 3月 道の駅配置の2名は任期終了(うち1名が起業準備)</p> <p>・地域振興関係 地域振興関係1名追加(減員分の補充) 奥屋内地区に配置予定</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商 工課・産業建設課、地 域企画課) 関係団体・組織 事業者 生産者</p>	<p>◆事業者間や地域で協働し た商品開発、販路開拓等の 取組みが円滑に推進されて いる</p> <p>◆一次産品等を活かした新 商品の開発 H31:15アイテム H27:25アイテム H28:17アイテム H29:20アイテム</p>		<p>【農業分野】</p> <p>○地域おこし協力隊 (農業振興:西土佐1名) 農 3,645千円</p> <p>【水産分野】</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊経費 (あゆ市場拠点1名) 【3,409千円】</p> <p>【商工業分野】</p> <p>○幡多広域地産外商推進協議会負担金 商 50千円 地方創生推進交付金を活用 ・幡多6市町村共同による外商活動を展開</p> <p>○地域おこし協力隊経費 (地域振興4名) 商 18,712千円 (中村地域)富山地区、大川筋・後川地区 (西土佐地域)須崎、大宮地区、奥屋内地区、</p>						

分野	連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野	<p>★事業者間のマッチング機会の創出《商工2》</p> <p>○テストマーケティング《商工1》</p> <p>○商品の品質、ラベル等の磨き上げや表示の適正化《商工1》</p> <p>○新たな商品・サービス等の企画・開発支援《商工3》</p> <p>○アドバイザーの派遣《商工3》</p> <p>○試作品のテストマーケティング《商工3》</p> <p>◎地域ならではのアイデア、資源を活かした商品開発《商工16》</p>	<p>○地域のグループとの意見交換会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討 <p>5月 大屋敷地区で地域農産物等の外販状況について聞き取り</p> <p>8月 常六地区で集落が実施している休耕田を活用した米作りの現状について聞き取り</p> <p>○幡多広域地産外商協議会</p> <p>8～9月 作業部会 2回 10月 総会、事業を継続</p> <p>○四万十市地域商品研究会</p> <p>(事業主体：四万十市地域商品研究会)</p> <p>勉強会等を開催し事業者のスキルアップを行う 会員等:13事業所</p> <p>【再掲】</p> <p>○ぶしゅかん普及推進事業</p> <p>(実施主体：四万十ぶしゅかん株式会社)</p> <p>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</p> <p>5～1月 ぶしゅかん集荷場施設整備(8月一部整備完了)</p> <p>(選果用選別台導入、HACCP対策の防虫対策等)</p> <p>8～10月 県外飲食店への青果サンプリングキャンペーン</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連)</p> <p>地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発 ツガニカレー、米粉シフォンラスク、鮎燻製など6品目 				<p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊起業補助金(1名分) 【1,000千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊修了者の起業への支援 <p>○特産品等販売促進事業(商談会出展) 商 2,150千円</p> <p>地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 事業費:1,532千円 スーパーマーケットトレードショー、東京インターナショナルギフトショー れんけいこうちを活用 ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 事業費:618千円 グルメ&デザインスタイルショー秋2019、ビジネスフェア中四国2020 まるごとっぽん出展
【連携AP7】 (5)滞在型の観光商品づくり	<p>◎観光マーケティングリサーチ《観光1》</p> <p>★四万十市のどこが好きキャンペーンの実施《観光1》</p> <p>◎観光商品としての検証と磨き上げ《観光2》</p> <p>○専門家を活用した観光商品の磨き上げ《観光2》</p> <p>◎観光商品づくりワークショップの開催《観光3》</p> <p>★異業種交流会の開催《観光3》</p> <p>◎地域の産業と連携した新たな観光商品づくり《観光3》</p> <p>★閑散期のメニュー開発《観光3》</p> <p>○周遊観光プランの造成・発信及び販売《観光5》</p>	<p>○観光動向等アンケート調査</p> <p>4月～ 観光案内所(観光協会)窓口で外国人観光客へのアンケート調査</p> <p>5月(GW) 佐田沈下橋で観光動向アンケート</p> <p>7月 H29の観光動向調査の結果集計</p> <p>H29のイベント、祭りの入込数及びキャンプ場、海水浴場、温泉施設の利用者を集計し、観光動向調査報告書を作成調査</p> <p>8月(お盆) 佐田沈下橋で観光動向アンケート</p> <p>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業(事業主体：幡多広域観光協議会)</p> <p>地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志国高知幕末維新博第2幕モニターツアー ・はた旅パワーアップ研修 <p>4～9月 商談会、旅行会社訪問(6回)</p> <p>8月 ワールド・ワン産地見学ツアー等検討会</p> <p>10～3月 商談会、旅行会社等の訪問</p> <p>11月 スポーツツーリズム意見交換会</p> <p>○四万十市観光振興連絡会議</p> <p>5月 「四万十川花紀行事業」等について各部会で検証</p> <p>○西土佐観光推進協議会</p> <p>5月 周遊観光の推進、情報発信強化等の検討・協議</p> <p>9月 中村-西土佐連携誘客プランの検討</p> <p>2月 中村-西土佐連携誘客プランモニターツアー開催</p> <p>○四万十市体験型観光受入研究会</p> <p>4月 農村生活体験ホームステイに係る衛生講習会</p> <p>5月 農村生活体験ホームステイに係る衛生講習会</p> <p>8月 体験型観光受入研究会総会にて、受入の向上</p>	<p>四万十市(観光商工課・産業建設課)</p> <p>観光協会</p> <p>四万十市観光振興連絡協議会</p> <p>西土佐観光推進協議会</p> <p>四万十市体験型観光受入研究会</p> <p>幡多広域観光協議会</p> <p>予土県境地域連携実行委員会</p> <p>四万十川流域市町村観光振興連絡会</p> <p>四国西南地域観光連絡協議会</p>	<p>◆多様な実施主体が連携を強め、満足度、リピート率の高い滞在型の観光プログラムを持続的に展開している</p> <p>◆体験・宿泊等のプラン 作成件数</p> <p>H31:10アイテム</p> <p>H27:3アイテム</p> <p>H28:0アイテム</p> <p>H29:0アイテム</p> <p>◆広域における一般観光客数(一般旅行者)</p> <p>H26:1,238,750人</p> <p>→ H31:53,750人増</p> <p>H27:1,173,511人</p> <p>H28:1,185,968人</p> <p>H29:1,193,182人</p> <p>◆広域におけるスポーツ客数</p> <p>H25:91,500人</p> <p>→ H31:10,000人増</p> <p>H27:108,039人</p> <p>H28:142,104人</p> <p>H29:136,414人</p> <p>◆広域における外国人延べ宿泊数</p> <p>H31:13,300人泊</p> <p>H27:8,476人泊</p>		<p>【観光分野】</p> <p>○観光案内所運営補助金(四万十市観光協会) 観 7,200千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向等 <p>○四万十川流域サイクルロード整備プロジェクト 観 10,000千円</p> <p>地方創生企業版ふるさと納税事業を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十川佐田沈下橋右岸から勝間沈下橋右岸の市道等を整備 <p>○観光客誘致宣伝活動 観 3,293千円</p> <p>地方創生企業版ふるさと納税事業を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致活動とあわせた観光ニーズ調査、国内(関東、関西、名古屋)への誘致活動 <p>○四万十川を活用した魅力向上事業補助金 観 1,450千円</p> <p>(事業主体：四万十市観光振興連絡会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と食をテーマとした観光イベント(四万十川花紀行等)の開催、検証等 <p>○四万十市体験型観光受入研究会 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭募集、研修ほか <p>○幡多広域観光協議会負担金 観 8,610千円</p> <p>(事業主体：幡多広域観光協議会)</p> <p>地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組方針を踏襲しながら、H31.2月に開幕する自然・体験型観光キャンペーンと連携した事業を展開 <p>○四国西南サミット観光部会 -</p>

分野					
連携テーマ	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
施策					
アクションプラン					
主な内容					
連携分野					
	<p>○四国西南サミット観光部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/9実施予定の部会は豪雨により中止 (於 大洲市) ・県外におけるPR活動 (パンフレットの作成・配布) <p>10月 観光プログラムの検証等</p> <p>○四万十川遊覧船協議会</p> <p>4月 協議会の開催 6月 救命講習・救命救助訓練</p> <p>2月 四万十川清掃活動</p> <p>【再掲】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会)</p> <p>地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の発信冊子づくりに向けた検討 <p>12、2月 (予定) 食文化の磨き上げ研究会開催</p> <p>3月 食の発信冊子づくり</p> <p>○インバウンド (外国人観光客) 受入体制向上事業 (事業主体:四万十市観光協会)</p> <p>着物で街歩きプラン (KIMONOLOILOI) の販売</p> <p>4月~ 着物レンタル (呉服店と連携) による小京都中村の「街歩き」体験メニュー</p> <p>○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト</p> <p>企業版ふるさと納税事業を活用</p> <p>8~9月 整備予定箇所の現地確認</p> <p>1~3月 ガードパイプ設置、路面補修 (景観を阻害する樹木の伐採については本年度見送り)</p>		<p>H28: 8,830人泊 H29:10,718人泊</p> <p>◆広域組織における5つの機能</p> <ol style="list-style-type: none"> ①商品の企画・立案 ②商品の造成、販売、取扱 ③広報、情報発信、窓口 ④地域の人材育成 ⑤観光産業化 <p>H31:強化</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・県外等における誘致活動 <p>○四万十川観光遊覧船協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光遊覧船事業の検証や磨き上げ (総会及び臨時会) <p>○モンベルフレンドエリア登録 観 941千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアメーカーの(株)モンベルと提携し、四万十川周辺の観光素材を情報誌に掲載するなどして誘客を図る。 <p>○西土佐観光推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊観光の推進等
2. 情報発信と販路開拓・拡大					
【連携AP8】					
(1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大					
<p>★産業間連携や広域連携による外商活動</p> <p>《農業15、水産13、商工4・8》</p> <p>○商談会等販路開拓・拡大の支援</p> <p>《農業15、水産13、商工4》</p>	<p>○地域商社「(株)西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連)</p> <p>地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産外商活動 <p>4月~9月 松山大街道にで外商活動 46回</p> <p>4月~9月 七駅物語プラス1 (愛媛県道の駅との連携) 肉街道実施 (スタッフリ-)</p> <p>9月 北の恵みうまいものマルシェ2017 (旭川市) に出店 (ふるさと市、ぼっぼ栗、鮎市場)</p> <p>10~3月 松山大街道にで外商活動 48回 (予定)</p> <p>10~11月 七駅物語プラス1 (愛媛県道の駅との連携) 肉街道実施 (スタッフリ-)</p> <p>11月 フェスティバル土佐ふるさとまつり、枚方市友好都市物産展</p> <p>12月 高知大丸冬の味覚祭</p> <p>3月 高知大丸春の味覚祭</p> <p>高知城歴史博物館2周年企画 四万十市物産展</p> <p>○ふるさとまつり参加団体補助金 (300千円交付)</p> <p>補助事業者: (株)西土佐ふるさと市 参加団体: 10事業者</p> <p>○地産外商活動</p> <p>4月 幡多フェア (サニーマート久米店)</p> <p>幡多地域10事業者、市内4業者</p> <p>8月 れんけいこうち日曜市出店事業</p>	<p>四万十市</p> <p>(農林水産課・観光商工課・産業建設課・地域企画課)</p> <p>関係団体・組織</p> <p>事業者</p> <p>生産者</p>	<p>◆産業間が連携し、多様な外商活動が展開されている</p> <p>◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、地域産品の販売促進につながっている</p> <p>◆商談会等での商談件数</p> <p>H26:108件/年 → H31:150件/年</p> <p>H27:134件/年 H28:377件/年 H29:743件/年</p>		<p>【商工業分野】</p> <p>○特産品等販売促進事業 (四万十フェア開催) 商 352千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京、近畿、九州地方で地域産品のPR、販売フェアを実施予定 <p>【再掲】</p> <p>○特産品等販売促進事業 (商談会出展) 【2,150千円】</p> <p>地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 事業費:1,532千円 <p>スーパーマーケットレドショー、東京インターナショナルギフトショー</p> <p>れんけいこうちを活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内特産品販売促進のため、大規模商談会へ出展支援 事業費:618千円 <p>グルメ&インクスタイルショー秋2019、ピジネスフェア中四国2020</p> <p>まるごとっぽん出展</p> <p>○枚方市・四万十市友好都市推進協議会補助金 商 800千円</p> <p>(実施主体:枚方市・四万十市友好都市推進協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枚方物産展への出展ほか <p>【再掲】</p> <p>○幡多広域地産外商推進協議会負担金 【50千円】</p> <p>地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幡多6市町村共同による外商活動を展開

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野					
	<p>10月 全国交流物産展 in新橋 高知県農業振興フェア</p> <p>11月 枚方市友好都市物産展</p> <p>12、2月 れんけいこうち日曜市出店事業</p> <p>○四万十市特産品等販売促進事業 (事業主体：四万十市地域商品研究会) 四万十市産振総合補助金を活用</p> <p>8月 第20回ジャパンインターナショナルシーフードショー (東京) 外食ビジネスウィーク2018 (東京)</p> <p>9月 rooms 37 (東京)</p> <p>2月 第25回グルメ&ダイニングスタイルショー春2019 (東京ビッグサイト) 3事業者出展</p> <p>○特産品販売促進事業 (商談会出展) 地方創生推進交付金を活用</p> <p>2月 第25回グルメ&ダイニングスタイルショー春2019 (東京ビッグサイト) 1事業者出展 第87回東京インターナショナルギフトショー春2019 1事業者出展 (東京ビッグサイト) 1事業者出展 第53回スーパーマーケットトレードショー2019 (幕張メッセ) 2業者出展</p>				<p>【再掲】</p> <p>○地産外商促進事業 (西土佐地域出展関係) 【592千円】</p> <p>・ふるさとまつり ・枚方物産展 ・大丸フェア春、冬 ・ピールトロッコ</p>
<p>★一元的な情報発信の促進 《商工4、7、観光7》</p> <p>◎地域の人、もの、コトの発信 《商工17》</p>	<p>○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・4月～しまんとエコバッグ販売継続</p> <p>・観光プロモーション動画の効果的な発信 ウェブサイトやSNSなどの利用者を、市プロモーション ビデオ掲載サイトへ誘導しPRを行う</p> <p>6月 プロモーションビデオ広報PR業務委託契約</p> <p>7～12月 情報発信 動画アクセス数22,580回 (12月末)</p> <p>・四万十市ロゴPR等</p> <p>3月 トラベルガイド「d design travel」に広告掲載 市関連施設へロゴマークステッカーを貼付しPR予定</p>				<p>【観光分野】</p> <p>○シティプロモーション推進事業 観 1,082千円 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・エコバッグリニューアル、PRツール作成等</p>
<p>○事業者や地域グループ等の人材育成 《商工5》</p> <p>★商品開発、販路開拓の推進組織の設立・運営 《商工5》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊事業</p> <p>・地域振興関係5名配置 (8月より4名体制、奥屋内地区減員) 富山地区、大川筋・後川地区、須崎地区、奥屋内地区、 大宮地区にそれぞれ1名配置</p> <p>・産業振興関係4名配置 西土佐道の駅にて商品開発担当1名、デザイン担当1名を配置 鮎市場内水面漁業振興として鮎市場に1名配置 8月～農業振興担当として農業公社に1名配置 3月 道の駅配置の2名は任期終了 (うち1名が起業準備)</p> <p>・地域振興関係 地域振興関係1名追加 (減員分の補充) 奥屋内地区に配置予定</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援 策等を検討</p> <p>5月 大屋敷地区で地域農産物等の外販状況について聞き取り</p> <p>8月 常六地区で集落が実施している休耕田を活用した米作りの 現状について聞き取り</p>				<p>【農業分野】</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊 (農業振興:西土佐1名) 【3,645千円】</p> <p>【水産分野】</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊経費 (あゆ市場拠点1名) 【3,409千円】</p> <p>【商工業分野】</p> <p>【再掲】</p> <p>○幡多広域地産外商推進協議会負担金 商 【50千円】 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・幡多6市町村共同による外商活動を展開</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊経費 (地域振興4名) 商 【18,712千円】 (中村地域) 富山地区、大川筋・後川地区 (西土佐地域) 須崎、大宮地区、奥屋内地区、</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊起業補助金 (1名分) 【1,000千円】 ・地域おこし協力隊修了者の起業への支援</p>

分野	連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野						
		<p>【再掲】</p> <p>○幡多広域地産外商協議会 8～9月 作業部会2回 10月 総会、事業を継続</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十市地域商品研究会 (事業主体：四万十市地域商品研究会) 勉強会等を開催し事業者のスキルアップを行う 会員等:13事業所</p>				
	<p>◎有機農産物の流通促進 《農業16》</p> <p>◎四万十ヒノキ製品の販売力の強化 《林業25》</p> <p>◎漁協の販売機能の強化 《水産12》</p> <p>★販路を見据えた漁業 《水産12》</p> <p>◎水産物・水産加工品のブランディングの構築と発信 《水産13》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○環境にやさしい農業のための研究会 4月～ 学校給食に農産物供給 5月 公家行列(物産市)へ出展、PR 11月 四万十市産業祭へ出店しPR</p> <p>【再掲】</p> <p>○地産外商活動 ・あゆ市場出店 9月 北の恵み食べマルシェ2018(旭川市) 10月 おさかなまつり 11月 フェスティバル土佐ふるさとまつり、枚方市友好都市物産展 12月 高知大丸冬の味覚祭 3月 高知大丸春の味覚祭</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊 あゆ市場拠点に1名配置。食品表示研修等を受講予定。</p>				<p>【農業分野：再掲】</p> <p>○環境にやさしい農業のための研究会の支援 ・物産展等へ出展PR、商談会へ出展</p> <p>【林業分野：再掲】</p> <p>○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・ブランド化協議 ・「高知もくもくランド2017秋まつり」へ出展PR 予定</p> <p>【商工業分野：再掲】</p> <p>○地産外商促進事業（西土佐地域出展関係） 【592千円】 ・ふるさとまつり ・枚方物産展 ・大丸フェア春、冬 ・ピールトロッコ</p> <p>【水産分野：再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊経費（あゆ市場拠点1名） 【3,409千円】</p>
	★土佐銀行跡地活用による拠点整備 《商工10》	<p>【再掲】</p> <p>○旧土佐銀行跡地開発事業 ・中心市街地商業活性化診断・サポート事業導入 実施設計補助 5,400千円 ・四万十市中心商店街活性化協議会を設立し、拠点施設を活用した 中心市街地の活性化策について検討</p>				<p>【商工業分野：再掲】</p> <p>○旧土佐銀行跡地開発事業 【28,778千円】 事業主体：四万十にぎわい商店株式会社 ・施工監理補助：1,423千円 ・建築工事補助：16,614千円 ・備品購入補助：7,253千円 ・雨除壁等撤去工事：3,488千円 ※市が実施主体</p>
	★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化 《農業13、商工10、18》	<p>【再掲】</p> <p>○地域商社「榊西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業（道の駅「よって西土佐」関連）</p> <p>地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HACCP導入に向けて研修を受講（9月） 今年度中の第2ステージ取得が目標 ・ 食品表示研修の受講 9月 応用編を受講 11月 専門編（一括表示）を受講 2月 専門編（栄養成分表示）を受講 ・ 食品添加物勉強会（2月） 				
	【連携AP9】 (2) 観光商品のセールス・情報発信					
	<p>○広域連携によるキャンペーンの展開 《観光5》</p> <p>★営業力のある人材、組織の育成 《観光6》</p> <p>◎旅行会社への営業活動の促進 《観光6》</p> <p>○旅行商品商談会等への出展 《観光6》</p>	<p>○予土県境地域連携実行委員会 4～2月下旬 「サイクルトレイン四万十号」運行（土日祝日） 9月 「四万十・南予横断2リバービューライド」→ 中止</p> <p>○四国西南地域観光連絡協議会 5月 第1回総会開催 ・パンフレット作成、デジタルプロモーションの実施</p> <p>3月 第2回総会開催予定 ・H30年度事業の検証と来年度計画について</p> <p>○四万十川流域市町村観光振興連絡会 6月 総会開催 10月～ 担当者協議 流域市町村周遊ルート作成 2月～ パンフレット作成</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課)</p> <p>観光協会 幡多広域観光協議会</p>	<p>◆観光人材・組織のスキル（商品企画、営業力等）が向上し、産業間連携、広域連携のもと「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている</p> <p>◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、観光誘客につながっている</p> <p>◆観光協会ホームページアクセス数 H26:119,577件 → H31:150,000件</p>	<p>【商工業分野】</p> <p>○特産品等販売促進事業(「さとむすび」運営委託料) 商 1,674千円 これまで個別に管理し、それぞれ発信していた情報を集約し、データベース化することで一元管理する。集約した情報は「さとむすび」サイトからまとめて発信が可能</p> <p>【観光分野】</p> <p>【再掲】</p> <p>○幡多広域観光協議会負担金 【8,610千円】 (事業主体：幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・前年度の取組方針を踏襲しながら、H31.2月に開幕する自然・体験型観光キャンペーンと連携</p>	

分野	連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野	<p>★海外への営業活動の促進 《観光6》</p> <p>○多様な媒体を活用した広報活動の強化 《観光7》</p> <p>★一元的な情報発信の促進 《商工4, 7, 観光7》</p> <p>★ターゲットに合わせたプロモーションの展開 《観光7》</p> <p>◎産業間連携や広域連携による誘客 (PR) 活動 《観光7》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用</p> <p>4月～ 商談会、旅行会社訪問(6回) 視察受入(6回)</p> <p>5月～ 研修会・講習会の参加(4回) 5、7、9月 県外イベント出展 7、8月 先進地視察</p> <p>10～3月 商談会・セールス活動、イベント出展等</p> <p>【再掲】</p> <p>○県外旅行者、学校等への誘致活動(観光ニーズ調査) 6月 関西方面</p> <p>○観光大使設置事業 名刺5,000枚印刷(中野氏、松田氏、荒木氏、橋本氏、中脇氏)</p> <p>○観光客誘致宣伝活動 (事業主体: 四万十市観光協会) ・旅行商談会(国内)出展(4、5、10、11、1月) ・旅行商談会(国外(バンコク、台湾))出展(11、1月)</p> <p>【再掲】</p> <p>○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・4月～ しまんとエコバッグ販売継続 ・観光プロモーション動画の効果的な発信 ウェブサイトやSNSなどの利用者を、市プロモーション ビデオ掲載サイトへ誘導しPRを行う 6月 プロモーションビデオ広報PR業務委託契約 7～12月 情報発信 動画アクセス数22,580回(12月末) ・四万十市ロゴPR等 3月 トラベルガイド「d design travel」に広告掲載 市関連施設へロゴマークステッカーを貼付しPR予定</p> <p>○志国高知幕末維新博での取組み(H29.3開幕) 4月～ 市内循環(四万十トrolley)バスの増便・川バスの運行 ・観光ガイドミーティング(10回) 4月3回、5月2回、6月1回、8月1回、10月1回、12月1回、 1月1回 ・お試しガイド実施(5回) 7月1回、8月1回、10月2回、12月1回</p>		H27:137,953件 H28:105,600件 H29:141,183件		<p>した事業を展開</p> <p>○予土県境地域連携実行委員会負担金 観 550千円 ・サイクリングを核とした観光振興連携事業ほか</p> <p>○四万十川流域市町村観光振興連絡会負担金 観 542千円 ・流域周遊促進にかかる事業ほか</p> <p>○四国西南地域観光連絡協議会負担金 観 40千円 ・パンフレット作成ほか</p> <p>【再掲】</p> <p>○観光客誘致宣伝活動 [3,293千円] 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・教育旅行、一般旅行の国内誘致活動(605千円) ・四万十市観光ガイドブック等作成(2,640千円) ・観光パンフレット送付(48千円)</p> <p>○観光大使設置事業 観 789千円 ・国内外への幅広い情報発信力を活かした広報活動 を展開(H31年度委嘱予定:3名程度)</p> <p>【再掲】</p> <p>○シティプロモーション推進事業 [1,082千円] 地方創生推進交付金を活用 ・エコバッグリニューアル、PRツール作成等</p>
3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信	<p>【連携AP10】 (1) “食”文化の磨き上げ</p> <p>○四万十の食文化の掘起し、磨き上げ 《商工6》</p> <p>★地産地消認証店制度 《農業12、水産13、商工4・6》</p> <p>○塩たたきのブランド化の推進 《商工6》</p> <p>★ジビエ料理等の研究、普及 《商工6》</p> <p>★魚食文化の磨き上げ 《水産14》</p> <p>★未利用資源等の掘起しと利活用 《水産11, 14》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・食の発信冊子づくりに向けた検討 12、2月(予定) 食文化の磨き上げ研究会開催 3月 食の発信冊子づくり</p> <p>○塩たたき提供店舗(39店舗)による塩たたきの普及</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商 工課・産業建設課)</p> <p>関係団体・組織 事業者 生産者</p>	<p>◆四万十の“食”として市 内外の知名度が向上し、観 光誘客など市街地への人の 回遊につながっている</p> <p>◆商店街通行者数(平日) あ 4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日 H30:6,208人/日</p>	<p>【水産分野】</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊経費(あゆ市場拠点1名) [3,409千円]</p>	
	<p>【連携AP11】 (2) “食”の発信</p>					

※主な内容: ★は新規、◎は拡充、○は継続

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
連携分野 ◎食の魅力を活かした観光地づくり 《観光4》 ◎食の発信・普及イベントの開催 《水産15、商工7、観光4》 ★一元的な情報発信の促進 《商工4・7、観光7》 ◎産業間連携や広域連携による誘客 (PR) 活動 《観光7》 ★県外を拠点とした店舗等による外商 推進 《商工8》	【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 ・食の発信冊子づくりに向けた検討 12、2月(予定) 食文化の磨き上げ研究会開催 3月 食の発信冊子づくり ○食の発信・普及イベント等 4月 よっておきゃく(道の駅よって西土佐) 5月 新たまつり(道の駅よって西土佐) 6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」 鮎まつり(道の駅よって西土佐) 7月 夏なりものまつり 8月 四万十ぶしゅかん解禁祭 41℃フェア、なすふえす(道の駅よって西土佐) 9月 栗×カニ合戦(道の駅よって西土佐) 10月 西土佐の新米とご飯のお友まつり 11月 四万十市産業祭、黒尊むらまつり、四万十うまいもの商店街 12月 道の駅「よって西土佐」冬の感謝祭 1月 シンシいたけまつり(道の駅よって西土佐) 2月 新酒のんDEみそ(道の駅よって西土佐) 3月 3周年だよ! よっておきゃく(道の駅よって西土佐) 四万十川花紀行「菜の花」まつり 【再掲】 ○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 ・観光プロモーション動画の効果的な発信 ウェブサイトやSNSなどの利用者を、市プロモーション ビデオ掲載サイトへ誘導しPRを行う 6月 プロモーションビデオ広報PR業務委託契約 7~12月 情報発信 動画アクセス数22,580回(12月末) ・四万十市ロゴPR等 3月 トラベルガイド「d design travel」に広告掲載 【再掲】 ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用 ・志国高知幕末維新博第2幕モニターツアー ・はた旅/パワーアップ研修 4月~ 商談会、旅行会社訪問(6回) 8月 ワールド・ワン産地見学ツアー等検討会 10~3月 商談会、旅行会社等の訪問 11月 スポーツツーリズム意見交換会 ○よって西土佐まつやま(道の駅ライトショップ: 松山市三番町) ・四万十市産の商品を販売 ・観光情報コーナーを設置し四万十市への誘客を促進 ・スタッフ研修会の実施 ・松山エリアの情報誌に広告を掲載	四万十市 (農林水産課・観光商 工課・産業建設課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆四万十の“食”として市 内外の知名度が向上し、観 光誘客や市街地への人の回 遊につながっている ◆商店街通行者数(平日) H22~H26平均 4,725人/日 → H31: 4,845人/日 H27: 4,591人/日 H28: 4,676人/日 H29: 5,878人/日 H30: 6,208人/日 ◆一人当たりの観光消費額 H24: 14,700円 → H31: 18,150円 H27: 13,939円 H28: 15,246円 H29: - ◆産業祭来場者数 H25: 2,000人 → H31: 20,000人 H27: 12,500人 H28: - H29: 1,500人 H30: 20,000人	計画の追加・修正	【商工業分野】 【再掲】 ○西土佐産業祭の開催 【742千円】 【再掲】 ○特産品等販売促進事業(四万十フェア開催) 【352千円】 ・東京、近畿、九州地方で地域製品のPR、 販売フェアを実施 【再掲】 ○地産外商促進事業(西土佐地域出展関係) 【592千円】 ・ふるさとまつり ・枚方物産展 ・大丸フェア春、冬 ・ピールトロッコ 【観光分野】 【再掲】 ○四万十川を活用した魅力向上事業補助金 【1,450千円】 事業主体: 四万十市観光振興連絡会議 ・花と食をテーマとした観光イベント(四万十川花 紀行等)の開催、検証等 【再掲】 ○シティプロモーション推進事業 【1,082千円】 地方創生推進交付金を活用 ・エコバグリリニューアル、PRツール作成等 【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金 【8,610千円】 (事業主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用 四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 ・広報PR事業 ・体制強化事業

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
農業分野					
1 産地としての維持・強化					
1. 戦略品目の生産拡大					
【農業AP 1】 (1)ぶしゅかんの産地づくり					
○生産量の拡大と産地化の推進 ◎認知度向上、販路開拓、ブランド化の取り組み	<p>【再掲】</p> ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 4月 ぶしゅかん販促キャンペーン (サニーマート久米店) 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン (東京都中央区:まるごと高知) 幡多バル西新宿店1周年記念青果PR 10月 幡多バル高知本店1周年記念青果PR 10月~ 新規定植 (苗代補助) 600本 120a 新規定植予定圃場現地確認 有害鳥獣対策用防護柵 (設置費補助) <p>【再掲】</p> ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん株式会社) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 5~1月 ぶしゅかん集荷場施設整備 (8月一部整備完了) (選果用選別台導入、HACCP対策の防虫対策等) 6月~8月 ぶ耐ハイTV-CM展開 8月~10月 県外飲食店への青果サンプリングキャンペーン ○ぶしゅかん集出荷支援事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合) 地方創生推進交付金を活用 8月~10月 集出荷支援 (人件費等の補助) ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携 集荷量: 28t (市内のみ) ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 8月 ぶしゅかん解禁祭開催 (天神橋商店街) 来場者約2,100名 ○ぶしゅかん栽培現地検討会 4月~6月 栽培管理指導、巡回指導 ○ぶしゅかん栽培基準検討会 (実施主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合) 6、7、12月 無農薬等の栽培基準の制定など協議 ○販路開拓・販売促進活動 (実施主体: 四万十ぶしゅかん(株)、四万十ぶしゅかん生産者組合) 5月 藤まつり (市内) 他、関西居酒屋産業展 (大阪市) 9月 青果をふるさと納税返礼品に登録 土佐くろしお鉄道「ぶ耐ハイ列車」運行協力 11月 高知県産品商談会、四万十市産業祭、四万十うまいもの商店街など ○認知度向上の取り組み ぶしゅまるクンが中村幼稚園に訪問しぶしゅかんPR ○ぶしゅかん産地化推進計画の策定検討 10、11月 産地化推進協議	四万十市 (農林水産課・観光商工課) 生産者 事業者	◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha H28:7.7ha H29:9.7ha H30:10.9ha ◆ぶしゅかん生産量 H26:13t → H31:54t H27:16t H28:22t H29:18t H30:28t		<p>【再掲】</p> <p>【農業分野】 ○ぶしゅかん産地化推進事業 【4,571千円】 地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規定植 (苗代への補助) 2,000本 400a ・有害鳥獣対策用防護柵 (設置費補助) 1,500m ・栽培指導等業務委託 生産量増加及び品質向上を目的とし生産者に植栽から収穫、出荷に至るまでの生産指導の業務委託 ・都市圏の百貨店等でぶしゅかんのブランディングキャンペーンの展開 ・キャンペーン用パンフレット、ポスター作成 ○ぶしゅかん産地化推進計画の策定 ・目標栽培面積・生産量、青玉の流通 (選果体制) ※市・振興センター・生産者組織・加工業者等で協議 ○地理的表示保護制度 (GI) 登録に向けた調査研究 ※地域で育まれた農産物の伝統と品質基準を守る証 (国が地域の特産品の「名称」を知的財産として保護) ○四万十ぶしゅかん(株)を主体に各種商談会、展示会、物産展 等での販路開拓・販売促進活動を展開

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要						
						農業分野					
						【農業AP2】 (2) ゆずの産地化促進					
						【農業AP3】 (3) 栗の産地再生					
○生産性の向上 ○隔年結果の低減や青果率、秀品率の向上 ◎「四万十ゆず」のブランド化の推進	○現地検討会 (6月) (実施主体: JA高知県中村支所) ○目慣らし会 (実施主体: JA高知県中村支所) 9月 青玉ゆず目慣らし会 10月 黄玉ゆず目慣らし会 1月 貯蔵ゆず目慣らし会 2月 剪定講習会 (予定)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県 生産者 事業者	◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:42.5ha H28:42.5ha H29:42.5ha ◆ゆず生産量 H26:445t → H31:445tを維持 H27:310t H28:486t H29:384t H30:300t (見込)		○高知県ゆず振興対策協議会負担金 * 30千円 ・連携した取組みの推進 ○剪定、誘引指導の実施 ○目慣らし会、ゆず出荷販売検討会 (事業主体: JA高知県中村支所) ○ゆず加工品の販売促進 (事業主体: JA高知県中村支所) ○「四万十ゆず」の地域団体商標登録に向けた取組みの推進 (事業主体: JA高知県中村支所) ・「四万十ゆず」の名称で青果の出荷販売						
○栗園の再生 ○栗の集出荷の支援 ◎「四万十栗」のブランド化の推進	【再掲】 ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体: 株式会社と美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 9月～ 栗の集出荷、縮間伐、新改植、加工機器整備等 10月～ 栗の集出荷、縮間伐、新改植 ○栗暮プロジェクト 地方創生推進交付金を活用 ・西土佐橋地区栗実証農園整備 橋地区の中村高校西土佐分校野球グラウンド跡地を活用し、栗の実証農園を整備(除草、耕起、堆肥混ぜ込み等: 60a) ・四万十市栗産地再生推進事業費補助金交付要綱制定 ・西土佐橋地区栗実証農園整備 農業公社へ整備委託(除草、柵設置、土壌改良、苗木定植等: 60a) ・栗苗木補助 水田転換(栗園へ転換) 0.5ha 苗木補助1,200本、栽培技術講習会2回 ○栗等の集出荷(西土佐地域) (実施主体: 高知県農業協同組合) ・栗を含め地域振興作物の集出荷を高知県農業協同組合が独自に実施	四万十市 (産業建設課) JA高知県 生産者 事業者	◆栗栽培面積 H26:39.5ha → H31:47ha H27:41.8ha H28:43.9ha H29:45.8ha ◆栗生産量 H26:15.1t → H31:60t H27:22.1t H28:26.1t H29:29.6t	【計画の変更】 ○「栗園の再生」の取組みに平地での栽培拡大、民間事業者と連携した付加価値化などを追加	【再掲】 ○栗暮プロジェクト [2,297千円] 地方創生推進交付金を活用 ・栗園モデル事業 ・栗園の縮間伐技術指導 ・産地化促進補助(苗木補助) ・水田転換推進事業(平場新植推進) ○園芸作物等の集出荷を継続実施(JA高知県西土佐支所)						
◎地域に根づいた有望品目による産地の育成・強化 ○新規品目導入の支援 ○野菜価格安定制度による経営支援	○レンタルハウス整備事業 (実施主体: 高知県農業協同組合、農家) 4月 レンタルハウス整備事業地域協議会 (新規就農区分1件、流動化区分1件) 5月 補助金交付決定(新規就農区分1件、流動化区分1件) 6月 レンタルハウス整備事業地域協議会(規模拡大区分1件) 7月 補助金交付決定(規模拡大区分1件) 9月 補助事業完了(新規就農区分1件) 11月 補助事業完了(流動化区分1件、規模拡大区分1件) ○園芸ハウス整備事業 4月 交付決定1件(レモン農家5月完了) 5月 交付決定3件(生姜農家6月完了、大葉農家2月完了予定、ピーマン農家8月完了) 9月 交付決定1件(イチゴ農家9月完了) 10月 交付決定2件(生姜農家10月完了、生姜農家11月完了)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県 四万十農園めぐりっこ 西土佐農業公社 集落営農組織 生産者	◆有望品目の安定生産や新規品目が地域内で定着し、安定した農業経営につながっている		○レンタルハウス整備事業 * 22,709千円 ・流動化区分 1件 1,350,000円(ピーマン) ・規模拡大区分 1件 7,676,000円(生姜)※一部高度化 ・新規就農区分 1件 13,683,000円(レモン) ○園芸ハウス整備事業 * 2,375千円 ・既存ハウスの修繕(12件) 生姜5件、トマト2件、ピーマン1件、大葉1件 レモン1件、インゲン1件、メロン1件 ○燃料タンク対策事業 * 2,167千円 ・流出防止付タンク及び防油堤の整備: 2基分 ○新規作物導入試作支援事業 (実施主体: 西土佐農業公社等) ・栽培実証及び販売促進等を支援 ・西土佐農業公社で試験栽培を実施						
【農業: AP4】 (4) 有望品目の産地強化											

分野	戦略の柱	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
農業分野						
		○燃料タンク対策事業 (実施主体: 高知県農業協同組合) 南海トラフ地震による2次災害発生リスクの軽減のため園芸ハウス加温燃料タンクを流失防止付きタンク置き換え 9月 タンク整備着工 11月 タンク整備完了 ○わさび実証実験事業 (実施主体: 四万十市わさび栽培協議会) 4月~ わさびの栽培管理 6、9、12、3月 わさび栽培現地検討会 2月 ブランド化調査視察 (東京豊洲、新潟柏崎) ○野菜価格安定事業 (中村地域) (実施主体: 四万十市中村野菜価格安定基金協会) 5月に給付 (前年度分) H29年度実績 オクラ: 2,500千円、シシトウ: 58千円 ナバナ: 22千円 ○園芸作物価格安定事業 (西土佐地域) (実施主体: 園芸作物価格安定基金評議会) 8月 評議会を開催し異常災害補給金の運用 10月 異常災害給付 632千円 12月 補給金 4,400千円 3月 評議会を開催し制度運用協議 補給金支払 (4月以降)				○わさび栽培実証実験事業 * 3,017千円 ・四万十市わさび栽培協議会 負担金 ※一部経費について国補助を要望中 ○野菜価格安定事業 (基金協会負担金) * 1,000千円 ・補給金: 2,000千円 (市1,000千円、JA1,000千円) ○野菜価格安定事業 (市事業分) * 2,000千円 中村地域のみ 市・JA・生産者 1/3負担 対象品目: オクラ・シシトウ・ナバナ ○園芸作物価格安定事業 (特別会計) * 13,070千円 (実施主体: 園芸作物価格安定基金評議会)
2. 生産性の高い栽培技術の導入						
【農業: AP5】 (1) 学び教えあえる場づくり						
	◎学び教えあう場づくり	○農業基礎講座 県農業振興センターを主体とし、農業研修生を対象に基礎講座を実施 (栽培技術、就農計画、制度資金、農業適正使用、経営管理等) 7、8、9、10、1、2月 農業基礎講座実施	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県 四万十農園めぐりっこ 西土佐農業公社 生産者	◆講座等を通じて、営農に不可欠な栽培技術や経営感覚が習得され、持続的な農業経営が実践されている。 ◆新規就農者等と篤農家との交流が促進され、情報収集や就農後の相談体制収集や就農後の相談体制等ネットワークが構築されている。		○農業基礎講座 (県農業振興センター主体) ・農業研修生を対象に年4回程度実施予定 ○JA選果場における目慣らし会の実施 ・研修生の目慣らし会への参加 ○地域内農家訪問研修 ・地域先進農家圃場で訪問研修 ○地域内農家による巡回指導 ・農家による四万十農園めぐりっこ研修生への訪問指導
【農業: AP6】 (2) 環境保全型農業の推進						
	○環境保全型農業の普及・啓発	○有機農業等総合支援事業 化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用の経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 ・堆肥等有機物利用促進 4月~1月実績 5件 (中村3件、西土佐2件) ○環境保全型農業直接支払交付金事業 化学肥料、農薬を使用しない取組み又は5割以上低減し、環境保全に効果の高い営農活動を支援 ・取組面積: 2,140a 有機農業2,0719a (中村)、カバークロップ69a (西土佐) ○環境保全型農業推進事業 環境保全型農業を実践する農業者の育成、技術・機械導入経費への支援 ・中村地域 園芸部 (9戸): 229.8a (ミヨウガ、大葉、キュウリ) イチゴ部 (11戸): 133a ・西土佐地域 JA高知県西土佐支所イチゴ部会 (1戸): 19a	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者	◆四万十川のブランドイメージにマッチした環境保全型農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている ◆環境保全型農業直接支援隊対策事業参加経営面積 H26: 21ha → H31: 31ha H27: 19.4ha H28: 23.8ha H29: 23.8ha H30: 21.4ha ◆環境保全型農業推進事業実施経営体数 H26: 11戸 → H31: 15戸 H27: 26戸 H28: 21戸 H29: 24戸 H30: 21戸		○有機農業等総合支援事業 * 400千円 ・化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 市内産畜産堆肥購入、たい肥散布 補助率1/3 ○環境保全型農業直接支払交付金事業 (事務費含む) * 2,801千円 ・4団体 取組面積: 2,801a 有機農業2,505a、カバークロップ296a ○環境保全型農業推進事業 * 344千円 ・中村地域 園芸部 (8戸): 229.8a ミヨウガ、大葉、キュウリ イチゴ部 (11戸): 133a ・西土佐地域 JA高知県西土佐支所イチゴ部会 (2戸): 22a

分野	戦略の柱	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
農業分野						
	【農業:AP7】 (3)次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進					
	★次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進	○環境制御技術導入加速化事業 8月 補助金交付決定 4件 ・炭酸ガス発生器、局所施用ダクトファン、環境測定装置 ・炭酸ガス発生器、局所施用ダクトファン ・日射比例灌水装置 2件 2月 補助事業完了予定 4件 ○次世代園芸ハウス事業化に向けた協議 4～1月 事業者、高知県、農業公社など関係機関にて随時協議 2月 関連企業との協議 平成31年度もクラスター計画策定に向けて協議を継続	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者	◆環境制御技術を導入する生産者が増加している ◆環境制御装置導入農家数 H31:20戸 H27:8戸 H28:7戸 H29:1戸 ◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31:1社 H27:- H28:- H29:-		
	3. 集落営農の推進					
	【農業:AP8】 (1)集落営農の組織化、法人化の支援					
	○組織化に向けた取組みの推進 ○フォローアップ体制の充実・強化	○組織化への誘導支援 ・地区座談会 7、2月 大宮ライスセンターと組織化へ向けた協議 7月 中組地区集落協定と組織化へ向けた協議 10月～ 中村地域地区座談会 (未組織地区) 3月 中村地域集落営農研究会の開催 西土佐地域集落座談会 (津野川ほか) ○既存組織へのフォローアップ ・組織別座談会 4～1月 東富山を守る会協議:12回 利岡ファーム協議:7回 (農)入田村協議:5回 (農)わらびおか協議:2回 山路営農組合協議:2回 (農)田野川甲協議:1回 安並水稲生産組合協議:1回 8月 四万十川営農組合と今後の事業内容について協議 2月 集落営農組織連絡会 (西土佐地域) 3月 集落営農組織連絡協議会 (中村地域) ・地元住民との交流 6月 小学校児童との田植え (若藤営農組合・利岡小学校) 10月 小学校児童との稲刈り (若藤営農組合・利岡小学校) ○集落営農支援事業 (ソフト事業) 12月 先進地視察 (島根県)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織	◆集落営農組織数 H26:20組織 → H31:25組織 H27:29組織 H28:30組織 H29:33組織 ◆農業経営を行う法人数 H26:2法人 → H31:9法人 H27:5法人 H28:4法人 H29:4法人 H30:4法人	○集落営農支援事業 (ソフト事業) * 526千円 ・先進地視察 (組織化への誘導、既存組織へのフォローアップ・支援) ○組織化への誘導 - ・地区座談会 (地区の現状や将来の課題等、住民が話し合い今後の方向性を検討) ・集落営農研究会の開催 (年1回程度) ○既存組織へのフォローアップ - ・集落営農組織連絡協議会 (年1回程度) 法人化、先進組織の取り組み事例紹介 ・組織別座談会 事業導入や法人化に向けた勉強会の開催 ・地元住民との交流 小学校児童との田植えや稲刈り (若藤営農組合・利岡小学校)	
	【農業:AP9】 (2)こうち型集落営農の実践					
	○収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援	○集落営農支援事業 (ハード事業) 営農組織に対する農業用機械、施設整備等の助成 ・農事組合法人わらびおか 5月 農業用倉庫交付決定 (7,480千円) 8月 乾燥機交付決定 (2,016千円) 3月 フォークリフト導入 (1,118千円) ・農事組合法人入田村 9月 トラクター交付決定 (3,110千円) フォークリフト交付決定 (786千円) 3月 動力噴霧機導入 (709千円) 畦塗機導入 (756千円) 播種機導入 (322千円) 畝立機導入 (381千円) ・西土佐西部 8月 色彩選別機交付決定 (2,094千円)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織 JA高知県 生産者	◆収益性の高い品目を導入する組織が育成させられている	○集落営農支援事業 (ハード事業) * 6,829千円 組織に対する農業用機械、施設整備の助成 ・農事組合法人わらびおか トラクター、ウイングハロー、田植機 ・東富山を守る会 畦塗機 ○営農活動の持続・拡充に向けた取組み支援の継続 -	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
農業分野					
4. 生産・出荷支援システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・津野川営農組合 8月 倉庫、乾燥機、糶摺り機交付決定 (5,243千円) ・東富山を守る会 1月 コンバイン交付決定 (1,638千円) ○三里・利岡・山路地区集落営農 (法人化) に向けた協議 4~1月 利岡地区協議7回 7月 三里地区協議1回 8~9月 山路地区協議2回 事業を継続 				
【農業:AP10】					
(1) 農作業支援体制の充実					
<ul style="list-style-type: none"> ★農作業支援体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○農作業支援隊による農業労働力確保事業 (実施主体: 高知県農業協同組合) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 4月 補助金交付決定 (補助金額: 2,716千円) (事業内容) 無料職業紹介所の運営 (求人農家と求職者のマッチング) 農作業支援チーム (堆肥散布、作業支援、育苗等) (紹介所実績: 1月末) 求職27件 求人19件 マッチング13件 (再マッチングあり) 【事業目標】 ・無料職業紹介所 求職者:80件、求人:84件、マッチング:70件 ・農作業支援 堆肥散布:700t、作業支援:160人役 WCS収穫、梱包:4,200a 育苗:ブロッコリー500枚、ニラ4,000枚 紹介所の周知、PR ○農作業支援体制の広域化 7月 幡多地域における農福連携事業情報交換会 9月 市広報に無料職業紹介所関連記事を掲載 10月 農福連携セミナーin幡多に参加 12月 幡多地区労働力確保対策協議会 PT会 2月 市広報に無料職業紹介所関連記事を掲載 2月 幡多地域労働力確保対策協議会 総会 (予定) 10~2月 市役所1階ロビーに募集ポップの設置 随時 PR強化:JA広報、折込 	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県	<ul style="list-style-type: none"> ◆無料職業紹介所 H26:1箇所 (北幡地域(西土佐)) →H31:2箇所 (幡東地域(中村)を増設) H27:1箇所 H28:2箇所 H29:2箇所 H30:2箇所 		<ul style="list-style-type: none"> ○無料職業紹介 (事業主体:JA高知県) ・幡東、北幡地域で無料職業相談所運営を継続
【農業:AP11】					
(2) 集出荷支援体制の充実					
<ul style="list-style-type: none"> ★集出荷拠点施設の設定、整備 ○集出荷の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 【再掲】 ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体:四万十ぶしゅかん株式会社) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 5~1月 ぶしゅかん集荷場施設整備 (8月一部整備完了) (選果用選別台導入、HACCP対策の防虫対策等) 【再掲】 ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体:株式会社しまんと美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 9月~ 栗の集出荷 【再掲】 ○ぶしゅかん集出荷支援事業 (実施主体:四万十ぶしゅかん生産者組合) 地方創生推進交付金を活用 8月~10月 集出荷支援(人件費等の補助) 集荷量:28t(市内のみ) ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携 	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県 ぶしゅかん生産者組合 東富山を守る会	<ul style="list-style-type: none"> ◆生産・出荷支援システム 取組件数 H26:5件 →H31:5件(維持) H27:5件 H28:5件 H29:5件 		<ul style="list-style-type: none"> ○農産物の集出荷や生活支援を継続実施 (実施主体:富山地域) ・中山間直接支払制度を活用 【再掲】 ○園芸作物等の集出荷を継続実施 (実施主体:JA高知県西土佐支所) (実施主体:四万十ぶしゅかん生産者組合) (実施主体:株式会社西土佐ふるさと市)

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
農業分野						
2 地元農畜産物の利用・販売促進						
1. 地元農畜産物の利用促進						
【農業: AP12】 (1) 地元消費拡大に向けた取組みの強化	主な内容 ◎公共施設での利用促進、★連携ネットワーク形成、★地元消費拡大フェアの開催⇒ 連携AP 1 ★地産地消認証店制度、◎市内量販店等を拠点とした販路拡大⇒ 連携AP 2					
【農業: AP13】 (2) 直販機能の強化	主な内容 ○直販所機能の強化、★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化⇒ 連携AP 2					
2. ブランド化の確立と販売促進						
【農業: AP14】 (1) ブランド化の推進	主な内容 ◎戦略品目のブランド化、★40010日プロジェクト⇒ 連携AP 3 ★新食肉センターを核とした地域産業の振興⇒ 連携AP 2、連携AP 3					
【農業: AP15】 (2) 地元農畜産物を使った商品の開発・販売	主な内容 ○地元農畜産物を使った商品の開発、◎意欲的な生産者への支援⇒ 連携AP 3 ★産業間連携や広域連携による外商活動、○商談会等販路開拓・拡大の支援⇒ 連携AP 8					
3. 有機農業の推進						
【農業: AP16】 (1) 有機農産物の販路開拓・拡大	主な内容 ◎有機農産物の流通促進⇒ 連携AP 1、連携AP 8 ◎公共施設での利用促進⇒ 連携AP 1					
【農業: AP17】 (2) 有機農業の普及・啓発活動の推進						
○有機農業の普及・啓発	【再掲】 ○有機農業等総合支援事業 化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用の経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 ・堆肥等有機物利用促進 4～1月実績 5件(中村3件、西土佐2件) ○集落営農支援事業(ソフト事業) 12月 先進地視察(島根県)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 環境にやさしい農業のための研究会 生産者	◆四万十川のブランドイメージにマッチした有機農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている ◆有機農業等総合支援事業実施面積 H26:11.5ha → H31:12ha H27:13.2ha H28:12.8ha H29: 6.6ha H30:1.6ha	【再掲】 ○有機農業等総合支援事業 ・化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用にかかる経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 【再掲】 ・先進地視察(組織化への誘導、既存組織へのフォローアップ・支援) ○環境にやさしい農業のための研究会との連携	【400千円】 【526千円】	-
3 担い手の確保・育成						
1. 新規就農者の確保・育成						
【農業: AP18】 (1) 新規就農者の研修支援						
○新規就農者の確保・育成 ◎新規就農者に対する農地提供促進	○新規就農研修支援事業 研修生手当、受入農家等研修補助金を交付 ・四万十農園めぐりっこ(中村地域) 4月～ 研修生1名(7月就農開始) 8月～ 研修生1名受入 ・西土佐農業公社 4月～ 研修生3名(うち、1名が4月から就農開始予定) ・受入農家(中村地域) 11月～ 研修生1名受入 1月～ 研修生1名受入 3月～ 研修生1名受入予定 ○農地等の斡旋 ・空き農地、空きハウス情報収集・提供(中村地域) ・西土佐農業連絡会遊休ハウスマッチング部会 最新情報を収集・整理 遊休ハウスデータ公表、マッチング、データ更新	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園めぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知県	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年 H28:2人/年 H29:4人/年	○新規就農研修支援事業 ・研修生手当(継続2名) ・受入農家等研修補助金(継続5名、新規2名) ○四万十農園めぐりっこ運営費 ○営農指導拠点施設(西土佐農業公社)運営費 ・営農指導拠点施設管理 ・研修生受入れ(継続2名) ○農地の斡旋 ・空き農地、ハウス情報収集(中村地域) ・JA、県、市で役割分担を行い空きハウスの情報収集、マッチングを実施(西土佐地域)	* 4,500千円 * 12,139千円 * 13,409千円	-
【農業: AP19】 (2) 新規就農支援体制の拡充						
○相談支援体制の充実 ○経営安定への支援 ◎就農開始時の支援	○新規就農支援チームによるトータルサポート ・経営計画作成支援等(2名実施) ・営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等のサポート ・サポート体制の確立 ・経営計画作成支援等 ・営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等のサポート ○【れんげいこうち事業】市町村合同就農相談会 8月 イオンモール高知	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園めぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知県	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年 H28:2人/年 H29:4人/年	○農業次世代人材投資資金事業 ・就農相談会への参加(東京1回、大阪1回) ・就農初期段階の青年就農者への経営支援 継続対象者:11名、新規対象者:4名 【再掲】 ○レンタルハウス整備事業	* 21,437千円 【22,709千円】	・新規就農区分1件 13,683,000円(レモン)

※主な内容:★は新規、◎は拡充、○は継続

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
農業分野						
		<ul style="list-style-type: none"> ○県外での合同就農相談会等出展 12月 東京、大阪 各1回 ○農業次世代人材投資資金(経営開始型)交付 継続対象者:12名、新規対象者3名 ○中山間農業複合経営拠点整備事業 (実施主体:西土佐農業公社) ・播種機一式の購入補助(11月)(補助金額:825千円) (実施主体:四万十市【四万十農園あぐりっこ】) ・ポットファームシステム2式(事業費:3,507千円) ・環境制御装置2台(事業費:2,960千円) 				<ul style="list-style-type: none"> ○就農相談・経営安定化支援 ・就農支援チームによるトータルサポート 営農指導、経営指導、事業導入、資金利用計画等 ○中山間農業複合経営拠点整備事業(中村地域) * 4,734千円 (実施主体:四万十市【四万十農園あぐりっこ】) ・ポットファームシステム1式(事業費:1,755千円) ・環境制御装置2台(事業費:2,979千円) ○中山間農業複合経営拠点整備事業 * 2,497千円 ・移動式雨よけハウス(2棟・20a)(補助金:1,884千円) ・乗用草刈り機(補助金:613千円)
	【農業:AP20】 (3)移住促進による新規就農支援					
	<ul style="list-style-type: none"> ◎移住就農者の誘致活動の強化 ◎Iターン(夫婦就農)者に対する支援拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 【再掲】 ○【れんけいこうち事業】市町村合同就農相談会出展 8月 イオンモール高知 【再掲】 ○県外での合同就農相談会等出展 12月 東京、大阪 各1回 	<ul style="list-style-type: none"> 四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知県 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年 ※移住夫婦研修者含む H28:2人/年 H29:4人/年 		<ul style="list-style-type: none"> 【再掲】 ○農業次世代人材投資資金事業 * [21,437千円] ・就農相談会への参加(東京1回、大阪1回)
	2. 認定農業者等の育成					
	【農業:AP21】 (1)認定農業者制度の周知強化					
	<ul style="list-style-type: none"> ○今後育成すべき農業者の把握、誘導 ○認定農業者制度の周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営所得安定対策推進事業 経営所得安定対策受付時にナラシ対策及び収入保険の説明と誘導 5月 中村地域:6回、西土佐:3回 ○認定農業者制度 ・5年経過の更新認定(3月に4人予定) ・新規就農者へ制度説明・誘導(随時) ・認定新規就農者の5年経過した者等へ制度説明・誘導(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県 	<ul style="list-style-type: none"> ◆認定農業者数 H25:127人 → H31:150人 H27:135人 H28:133人 H29:137人 		<ul style="list-style-type: none"> ○人・農地問題解決加速化支援事業 * 153千円 ・人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し誘導しプランの見直しを行う ○認定新規就農者の5年経過した者を認定農業者へ誘導 ○経営所得安定対策推進事業 * 2,084千円 ・経営所得安定対策受付時やJA水稲生産部でナラシ対策希望者を誘導
	【農業:AP22】 (2)認定農業者等のフォローアップの強化					
	◎認定農業者等のフォローアップの強化	<ul style="list-style-type: none"> ○認定農業者のフォローアップ 6月 認定農業者への「農業経営塾」開講の案内 9月 再認定者の計画策定支援(中村地域:4件) 11月 全国担い手サミットinやまがたへ参加(3名) 12月 中村地域認定農業者連絡協議会総会開催 西土佐地域認定農業者連絡協議会総会開催 2月 高知県担い手サミットへ参加 3月 再認定者の農業経営改善計画作成支援(中村地域5名) 随時 H27新規認定者へのフォローアップ ○スーパーL資金利子補給 8月 スーパーL資金上半期利子補給(中村1件、西土佐1件) 2月 スーパーL資金下半期利子補給(西土佐2件) 	<ul style="list-style-type: none"> 四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県 認定農業者連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ◆認定農業者数 H25:127人 → H31:150人 H27:135人 H28:133人 H29:137人 		<ul style="list-style-type: none"> ○担い手育成・確保対策事業 * 444千円 ・認定農業者のフォローアップ ○農業後継者育成支援(西土佐地域) * 70千円 ・評議会において農業後継者育成のための各種事業の検討及び実施 ○農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)利子補給 * 6千円
	【再掲】 3. 集落営農の推進					
	【農業:AP8】 (1)集落営農の組織化、法人化の支援	<ul style="list-style-type: none"> 主な内容 ○組織化に向けた取組みの推進、◎フォローアップ体制の充実・強化⇒ 農業AP8 				
	【農業:AP9】 (2)こうち型集落営農の実践	<ul style="list-style-type: none"> 主な内容 ○収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援⇒ 農業AP9 				

分野	戦略の柱		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
	施策						
	アクションプラン						
	主な内容						
農業分野							
4 農地の利用促進							
1. 農地の利用調整							
【農業: AP23】 (1) 農地利用の円滑化							
○農地中間管理機構の活用 ◎地域の農業委員による農地の利用調整	○農地中間管理事業 田野川甲地区、藤岡地区、竹島地区等で中間管理事業実施に向けた農地の掘り起こし ・掘り起こした農地の中間管理権設定 ・中間管理権設定農地の受け手への配分 ・上記農地に対する機構集積協力金交付 ○農業委員等による農地の利用調整 9月 農地パトロールの実施 10月～ 利用意向調査実施 12月 利用意向調査結果の取りまとめ結果 (機構利用希望データ) の機構への引き渡し、情報提供	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 農業委員会	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化 (流動化) が促進されている	○農地中間管理事業 (農地流動化促進事業を含む) 200千円 ・農地中間管理機構 (県農業公社) と連携した農地の集団化と担い手の育成 ・事業制度の周知 ・農地の出し手の掘り起こし (対象地域: 市内全域) ○農業委員による農地の利用調整 ・利用意向調査の実施 ・農地パトロール (空き農地情報の収集)			
【農業: AP24】 (2) 営農類型等に応じた農地の集積							
○農業振興地域整備計画の全体見直し ○人・農地プラン作成、更新の支援 ○新規参入、品目転換における適地誘導	○農業振興地域整備計画の見直し ・整備計画の定期見直し (5年毎) により、計画の見直しを実施 9月 農業委員会へ諮問 11月 関係機関への意見聴取見直し手続き継続 【再掲】 ○人・農地問題解決加速化支援事業 ・人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況等を把握し、プランの見直しを行う。また、認定農業者制度の周知、誘導を行う 2月: 中村地域 3月: 西土佐地域 6箇所 (予定)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知県	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化 (流動化) が促進されている	【再掲】 ○人・農地問題解決加速化支援事業 【153千円】 ・人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し誘導しプランの見直しを行う			
【農業: AP25】 (3) 基盤整備の推進							
○入田地区整備 ○利岡、三里地区整備 ○その他の地区整備	○入田地区 (H29補正、H30) ほ場整備工事 施工面積 (1工区) 6.2ha 確定測量委託、換地委託等 ○利岡地区 (H29補正、H30) ほ場整備工事 施工面積 (1工区) 3.2ha (2工区6.6haは、今年度発注、来年度にかけ施工) 環境調査、換地委託等 ○三里地区 (H29補正、H30) ほ場整備工事 施工面積 8.6ha 換地委託等 ○県営事業に伴う協議及び調整等 ○整備検討地区との協議を随時実施 既存整備地区終了後の基盤整備について随時検討協議 (既存整備地区はH32頃整備完了予定)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 地区組織	◆ほ場整備実施面積 H26: 1,064.9ha → H32: 1,140.0ha H27: 5.5ha (入田) 1,070.4ha (全体) H28: 10.7ha (入田) 1,081.1ha (全体) H29: 8.6ha (入田) 6.7ha (三里) 1,096.4ha (全体) H30: 6.2ha (入田) 3.2ha (利岡) 8.6ha (三里) 1114.4ha (全体)	○入田地区整備 (県営事業負担金) * 58,000千円 ・全体面積: 35.2ha 平成31年度事業費58,000千円 (負担金10%) ○利岡地区整備 (県営事業負担金) * 200,000千円 ・全体面積: 25.1ha H31施工面積: 9.1ha 平成31年度事業費200,000千円 (負担金10%) ○三里地区整備 (県営事業負担金) * 146,000千円 ・全体面積: 18.8ha H31施工面積: 3.2ha 平成31年度事業費146,000千円 (負担金10%) ○整備検討地区との協議を随時実施 既存整備地区終了後の基盤整備について随時検討協議 (既存整備地区はH32頃整備完了予定)			
2. 耕作放棄地対策							
【農業: AP26】 (1) 耕作放棄地の再生及び発生防止対策							
○耕作放棄地の再生 ○耕作放棄地の発生防止対策	○耕作放棄地の再生 農地利用意向調査による再生地情報の取得 農地パトロールによる再生地確認 ○耕作放棄地の発生防止対策 ・中山間地域等直接支払交付金 (四万十市計) 交付予定額 88,265千円 交付組織数 49組織 ・多面的機能支払推進交付金 (四万十市計) 交付予定額 110,549千円 交付組織数62組織	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 農業委員会 集落協定組織 農地・水保全組織	◆中山間地域等直接支払制度の実施農地面積 H31: 461.6haを維持 H27: 458.3ha H28: 458.8ha H29: 508.5ha H30: 518.9ha	○耕作放棄地の再生 ・農業委員による農地パトロール (対象地域: 市内全域) ○耕作放棄地の発生防止対策 ・中山間地域等直接支払交付金 * 91,210千円 (合同研修会開催ほか推進事務費含む) ・多面的機能支払交付金 * 119,521千円 (合同研修会開催ほか推進事務費含む)			
◆多面的機能支払制度の実							

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン 主な内容						
農業分野						
		9月 中山間直接支払現地調査 (中村、西土佐地域) 2月～3月 中山間直接支払協定、地域別協議 (中村地域)		施農地面積 H31:1,513haを維持 H27:1,533.8ha H28:1,519.8ha H29:1,491.6ha H30:1,487.8ha		
	【農業:AP27】 (2) 適合品目の栽培促進					
	○適合品目の栽培促進	<p>【再掲】</p> <p>○ぶしゅかん集出荷支援事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合) 地方創生推進交付金を活用</p> <p>8月～ 集出荷支援 (人件費等の補助) ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携</p> <p>9～10月 集出荷支援 (人件費等の補助) 集荷量: 28t (市内のみ)</p> <p>【再掲】</p> <p>○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用</p> <p>10月～ 新規定植 (苗代補助) 600本 120a 新規定植予定圃場現地確認 有害鳥獣対策用防護柵 (設置費補助)</p>	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者	<p>◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha H28:7.7ha H29:9.7ha H30:10.9ha</p> <p>◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:42.5ha H28:42.5ha H29:42.5ha H30:42.5ha</p>		<p>【再掲】</p> <p>○ぶしゅかん産地化推進事業 【3,925千円】 地方創生推進交付金を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規定植 (苗代への補助) 2,000本 400a ・有害鳥獣対策用防護柵 (設置費補助) 1,500m ・栽培指導等業務委託 生産量増加及び品質向上を目的とし生産者に植栽から収穫、出荷に至るまでの生産指導の業無委託

分野	戦略の柱	施策	アクションプラン	主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
林業分野	1 四万十の山づくり	1. 長期的視点に立った産地づくり	【林業: AP 1】 (1) ヒノキ産地としての意識の醸成	★ヒノキ産地としての市民意識の醸成	<p>【再掲】</p> <p>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 宿泊者 50組 延べ261名宿泊 (1月末現在) 見学者 240名</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十ヒノキブランド化推進協議会 4月 幹事会開催 6月 総会開催 8月 担当者会開催 11月 幹事会開催</p> <p>【再掲】</p> <p>○フェア等への参加 10月 ・高知もくもくランド2018秋まつり (主催: 高知県木材普及推進協会、高知県) (出店: 四万十ヒノキブランド化推進協議会 四万十ヒノキのPR ・「幡多山もりフェス2018」 (主催: 幡多山もりフェス実行委員会) (出店: 株式会社かわらっこ)</p>	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆市民、森林所有者へ品質に優れたヒノキ資源が全国有数であり、ヒノキ産地として森林整備の必要性が周知されているとともに、山(林業)や木材への関心が高まっている		<p>【再掲】</p> <p>○宿泊体験型モデルハウス管理費 【324千円】 ・「四万十ヒノキの家」での見学、宿泊体験の実施</p> <p>【再掲】</p> <p>○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 【200千円】 ・「高知もくもくランド2018秋まつり」へ出展PR予定</p> <p>【再掲】</p> <p>○フェア等の開催 ・「幡多山もりフェス2018」開催予定</p>
			◎森林所有者の意識の醸成	○提案型集約化施策の推進 ・森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進					○提案型集約化施策の推進 ・森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進
			【林業: AP 2】 (2) 計画的な森林管理・経営の促進	○森林資源の現状把握とデータ管理の徹底	<p>○施策をした森林の森林簿のデータ修正・管理 造林補助事業等により森林簿を随時更新</p> <p>○森林整備地域活動支援交付金事業 (H30年間計画) ・森林経営計画作成促進 (経営委託型) 面積100ha ・森林経営計画作成促進 (共同施策型) 面積250ha ・森林境界の明確化 80ha ・森林経営計画、施策集約化に向けた条件整備 (路網整備) 25ha</p> <p>○林地台帳整備 台帳システムの機能向上作業</p>	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体	<p>◆計画的な森林管理・経営に向け「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている</p> <p>◆「森の工場」の認定面積 H26: 3,586ha → H31: 4,000ha H27: 3,834ha H28: 3,318ha H29: 3,046ha</p>		<p>○施策をした森林の森林簿のデータ修正・管理 ・造林補助事業等により森林簿を随時更新</p> <p>○森林整備地域活動支援交付金事業 * 5,849千円 (H31年間計画) ・森林経営計画作成促進 (経営委託型) 面積80ha ・森林経営計画作成促進 (共同施策型) 面積226ha ・条件整備 (路網整備): 25ha</p> <p>○林地台帳整備 台帳整備を行ったので経営計画等に役立てる</p>
			○経営類型の明確化	○森林経営計画の作成 林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化 計画変更3件 (中村市森林組合+四万十市、土佐建興、明星建設) 新規計画11件 (杉原建設2件、高知県森林整備公社1件、 遠山産業1件、中村市森林組合+四万十市1件 西土佐村森林組合6件)					○森林経営計画の作成 ・林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化
			【林業: AP 3】 (3) 提案型集約化施策の推進	○森林所有者へのアプローチの強化	<p>【再掲】</p> <p>○提案型集約化施策の推進 ・森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進</p> <p>【再掲】</p> <p>○森林整備地域活動支援交付金事業 (H30年間計画) ・森林経営計画作成促進 (経営委託型) 面積100ha ・森林経営計画作成促進 (共同施策型) 面積250ha ・森林境界の明確化 80ha ・森林経営計画、施策集約化に向けた条件整備 (路網整備) 25ha</p>	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体	<p>◆「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている</p> <p>◆「森の工場」の認定面積 H26: 3,586ha → H31: 4,000ha H27: 3,834ha H28: 3,318ha H29: 3,046ha</p>		<p>【再掲】</p> <p>○提案型集約化施策の推進 ・森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進</p> <p>【再掲】</p> <p>○森林整備地域活動支援交付金事業 【5,849千円】 (H31年間計画) ・森林経営計画作成促進 (経営委託型) 面積80ha ・森林経営計画作成促進 (共同施策型) 面積226ha ・条件整備 (路網整備): 25ha</p>
			○森林経営計画策定の促進						
			○森の工場の推進						

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
林業分野						
		○森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載) 継続実施分 ・常六地区(セチ`オシ) 搬出10ha、作業道1,650m(7,349千円) ・富山西地区(ネ`ヲシ) 搬出間伐17ha、作業道1,420m(9,240千円) ・片魚地区(ヲキ`ノ) 搬出間伐10ha(4,054千円) ・津野川地区森の工場 搬出間伐15.1ha、作業道800m(7,293千円)				○森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載) * 30,609千円 継続実施分 ・常六地区(セチ`オシ): 搬出間伐10ha、作業道2000m ・片魚地区: 搬出間伐15ha、作業道1000m ・富山西地区: 搬出間伐6ha ・西ヶ方地区: 搬出間伐6ha ・奥屋内地区: 搬出間伐6ha、作業道800m
2. 長伐期施業の推進						
【林業:AP4】 (1)長伐期施業方針の策定と普及啓発						
	★長伐期施業方針の策定と普及啓発	○長伐期施業方針の策定(継続)	四万十市(農林水産課)	◆長伐期施業方針が広く認知されている		○長伐期施業方針の策定(継続) -
【林業:AP5】 (2)長伐期施業技術(ノウハウ)の蓄積						
	★市有林におけるモデル林の整備 ★長伐期施業の経営シュミレーションの検証	○市有林整備事業 ・三里地区市有林造林業務 新植10ha歩道1100m、ネット13040m(13,988千円) ○協働の森づくり ・九樹地区(相ヶ谷山)搬出3.17ha、枝打ち3.33ha(3,389千円) ・板ノ川地区(フツク)搬出7.3ha(5,362千円) ・藤ノ川森の工場: 作業道補修	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立されている		○市有林整備事業 * 48,345千円 ・大西ノ川: 搬出間伐5ha、作業道750m ・竹屋敷(大駄馬): 搬出間伐6ha ・住次郎(ヒソヲ谷): 搬出間伐9ha、750m ・三里(不町山ノ内): 新植12ha、シカネット1600m歩道1100m、下刈り21ha ○協働の森づくり * 17,620千円 ・板ノ川(フシツク): 搬出間伐7.5ha ・九樹(相ノ谷山): 搬出間伐7.5ha ・藤ノ川森の工場: 搬出間伐10ha、作業道100m
【林業:AP6】 (3)長伐期施業技術(ノウハウ)の普及						
	★長伐期施業の講習会等の開催	○長伐期施業の講習会を実施予定 (実施主体: 四万十ヒノキブランド化推進協議会)	四万十市(農林水産課) 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立され、普及している		【再掲】 ○四万十ヒノキブランド化推進協議会負担金 ・長伐期の講習会を実施予定 【200千円】
3. 適切な皆伐、間伐による原木生産の拡大						
【林業:AP7】 (1)森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践						
	◎森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践	【再掲】 ○市有林整備事業 ・三里地区市有林造林業務 新植10ha歩道1100m、ネット13040m(13,988千円) 【再掲】 ○協働の森づくり ・九樹地区(相ヶ谷山)搬出3.17ha、枝打ち3.33ha(3,389千円) ・板ノ川地区(フツク)搬出7.3ha(5,362千円) ・藤ノ川森の工場: 作業道補修 【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載) 継続実施分 ・常六地区(セチ`オシ) 搬出10ha、作業道1,650m(7,349千円) ・富山西地区(ネ`ヲシ) 搬出間伐17ha、作業道1,420m(9,240千円) ・片魚地区(ヲキ`ノ) 搬出間伐10ha(4,054千円)	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆原木生産量 H24: 47,000m ³ → H31: 60,000m ³ H25: 75,573m ³ H26: 93,790m ³ H27: 52,540m ³ (ハ`イマ含) H28: 57,146m ³ (ハ`イマ含)		【再掲】 ○市有林整備事業 【48,345千円】 ・大西ノ川: 搬出間伐5ha、作業道750m ・竹屋敷(大駄馬): 搬出間伐6ha ・住次郎(ヒソヲ谷): 搬出間伐9ha、750m ・三里(不町山ノ内): 新植12ha、シカネット1600m歩道1100m、下刈り21ha 【再掲】 ○協働の森づくり 【17,620千円】 ・板ノ川(フシツク): 搬出間伐7.5ha ・九樹(相ノ谷山): 搬出間伐7.5ha ・藤ノ川森の工場: 搬出間伐10ha、作業道100m 【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業は別途掲載) 【30,609千円】 継続実施分 ・常六地区(セチ`オシ): 搬出間伐10ha、作業道2000m ・片魚地区: 搬出間伐15ha、作業道1000m ・富山西地区: 搬出間伐6ha

※主な内容: ★は新規、◎は拡充、○は継続

分野	戦略の柱	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
林業分野						
		・津野川地区森の工場 搬出間伐15.1ha、作業道800m (7,293千円)				・西ヶ方地区：搬出間伐6ha ・奥屋内地区：搬出間伐6ha、作業道800m ○緊急間伐総合支援事業 * 4,859千円 ・公益林保全整備 (搬出間伐)：7.87ha ・森林整備支援 (搬出間伐)：3.0ha ・作業道：2,350m ○環境林整備事業 (組合等が県へ直接申請) - ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を旨 指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施
	【林業：AP8】 (2) 施策の効率化と低コスト化					
	○作業道や林業機械導入への支援 ○林内路網の維持管理	【再掲】 ○森の工場 (協働の森づくり事業は別途掲載) 継続実施分 ・常六地区 (セチオロシ) 搬出10ha、作業道1,650m (7,349千円) ・富山西地区 (ホクシ) 搬出間伐17ha、作業道1,420m (9,240千円) ・片魚地区 (ワキノ) 搬出間伐10ha (4,054千円) ・津野川地区森の工場 搬出間伐15.1ha、作業道800m (7,293千円) ○高性能林業機械導入・地域林業総合支援事業 林業事業者の高性能機械の導入支援 ・中村市森林組合 (ハーベスタ) 土佐建興 (ハーベスタ) 林業事業者の高性能機械の導入支援 (リース) ・西土佐村森林組合 (ハーベスタ、ウインチ付きグラブ、 フォワーダ) ・佐竹林業 (ウインチ付きグラブ) ○緊急間伐総合支援事業 ・作業道 660m (1,020千円) 3月完了予定 ○ふるさと暮らし支援事業 (作業道の改良・舗装) ・林道舗装資材：1路線 (総延長=70m、200千円) ・作業道整備：2路線 (総延長=160m、1,000千円) ○林道・作業道維持補修 ・維持工事1件 (126千円) ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 ・森林機能強化：L=700m (作業道整備) 3月完了予定	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業者	◆効率的な作業システムによる 施策の低コスト化が進んでいる ◆作業道開設実績 延長累計 H25:709,795m → H31:790,000m H26:739,719m H27:766,252m H28:802,235m		【再掲】 ○市有林整備事業 【48,345千円】 ・大西ノ川：搬出間伐5ha、作業道750m ・竹屋敷 (大駄馬)：搬出間伐6ha ・住次郎 (ヒソヲ谷)：搬出間伐9ha、750m ・三里 (不町山ノ内)：新植12ha、シカネット1600m 歩道1100m、下刈り21ha 【再掲】 ○森の工場 (協働の森づくり事業は別途掲載) 【30,609千円】 継続実施分 ・常六地区 (セチオロシ)：搬出間伐10ha、作業道2000m ・片魚地区：搬出間伐15ha、作業道1000m ・富山西地区：搬出間伐6ha ・西ヶ方地区：搬出間伐6ha ・奥屋内地区：搬出間伐6ha、作業道800m 【再掲】 ○協働の森づくり 【17,620千円】 ・板ノ川 (フシツク)：搬出間伐7.5ha ・九樹 (相ノ谷山)：搬出間伐7.5ha ・藤ノ川森の工場：搬出間伐10ha、作業道100m 【再掲】 ○緊急間伐総合支援事業 【3,680千円】 ・作業道：2,350m ○ふるさと暮らし支援事業 (林道・作業道の舗装・開設) * 2,500千円 ・林道舗装：9路線 (総延長=260m、1,000千円) ・作業道開設：3路線 (総延長=1,500m、1,500千円) ○林道維持補修 * 7,853千円 ・維持工事3件他 ○林道改良 (片魚四手ノ川線) * 3,000千円 ・舗装、側溝、路側改良 (総延長=1,125m)
	【林業：AP9】 (3) 低コスト再造林、育林の実践					
	◎低コスト再造林、育林の実践 ◎防護柵の設置と捕獲の促進	○防護柵設置 (県補助) 補助金243千円 延長 L=734m 3月完了予定 ○国防護柵設置 ・鳥獣被害防止対策総合支援交付金 交付決定額116,399千円 17地区 柵 L=63,510m ・中山間所得向上支援事業費補助金 交付決定額70,000千円 5地区 柵 L=37,371m ・ソフト事業 (オリ) 1,800千円	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業者 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	◆低コスト再造林、育林の ノウハウ、技術体系の確立 が進んでいる ◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭 H28:3,151頭 H29:2,989頭		○鳥獣被害防除対策事業 (防護柵設置ほか) * 2,650千円 ○国防護柵設置 - (事業主体：四万十市有害鳥獣被害対策協議会) ・国へ要望中 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 * 63,150千円 ・鳥獣被害対策実施隊員報酬 (200千円) ・年間計画：シカ 3,300頭 イノシシ 1,500頭 サル 100頭 ハクビシン 400頭 カワウ 500羽 ○くくりわな購入補助 * 2,727千円
		○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 1月末現在				

※主な内容：★は新規、◎は拡充、○は継続

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
林業分野						
		・捕獲頭数：シカ 1,724頭 (計画：3,700頭) イノシシ 1,198頭 (計画：1,800頭) サル 34頭 (計画：100頭) ハクビシン 281頭 (計画：400頭) カワウ 340羽 (計画：500羽)				
4. 林業事業体や担い手の確保、育成						
【林業：AP10】 (1) 林業事業体及び林業技術者の育成支援						
○林業事業体、林業技術者の育成	○「緑の雇用」事業 新規雇用5人 (内、緑の雇用4人) ・新規雇用者5人 (森林組合1人、林業事業体4人) ・2年目雇用者7人 (森林組合7人) ・3年目雇用者7人 (森林組合4人、林業事業体3人) 【再掲】 ○市有林整備事業 新植10ha歩道1100m、ネット13040m (13,988千円) 【再掲】 ○協働の森づくり ・九樹地区 (相ヶ谷山) 搬出3.17ha、枝打ち3.33ha (3,389千円) ・板ノ川地区 (フツク) 搬出7.3ha (5,362千円) ・藤ノ川森の工場：作業道補修 ○林業技術者研修の開催 (3月開催予定) (実施主体：幡多流域林業活性化センター)	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド 化推進協議会 幡多林業活性化センター	◆経営能力の高い森林組合、林業事業体が効率的な生産活動を展開している ◆効率的な林業生産活動を行うことができる優れた担い手が育成されている ◆新規林業就業者数 →3人/年 H27：7人/年 H28：5人/年 H29：4人/年		○「緑の雇用」事業 新規雇用5人 (内、緑の雇用5人) 予定 ○人材育成事業 60,000円×12カ月×13名 【再掲】 ○幡多流域林業活性化センター負担金 ・林業技術研修予定 【再掲】 ○市有林整備事業 ・大西ノ川：搬出間伐5ha、作業道750m ・竹屋敷 (大駄馬)：搬出間伐6ha ・住次郎 (ヒソヲ谷)：搬出間伐9ha、750m ・三里 (不町山ノ内)：新植12ha、シカネット1600m 歩道1100m、下刈り21ha 【再掲】 ○協働の森づくり ・板ノ川 (フシツク)：搬出間伐7.5ha ・九樹 (相ノ谷山)：搬出間伐7.5ha ・藤ノ川森の工場：搬出間伐10ha、作業道100m	— * 9,360千円 【85千円】 【48,345千円】 【17,620千円】
○森林組合の経営力強化	○環境林整備事業 (組合等が県へ直接申請) ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 ・森林組合の事業量 (収益) の確保				【再掲】 ○環境林整備事業 (組合等が県へ直接申請) ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 ・森林組合の事業量 (収益) の確保	—
【林業：AP11】 (2) 森林保育等の活動グループへのアプローチ						
★兼業型林業事業者の育成支援	【再掲】 ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行7件 (うち公共事業関係3件) 1月末：325㎡ ○高性能林業機械等整備事業 (レンタルタイプ) 林業事業者の高性能機械の導入支援 ・久保田恭彦 (バックホウ)、谷吉勇太 (バックホウ)	四万十市 (農林水産課) 兼業型林業事業者	◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている		【再掲】 ○林地残材の搬出促進 ・バイオマス証明書発行 【再掲】 ○高性能林業機械等整備事業 (レンタルタイプ) ・林業事業者の要望を取りまとめ県へ要望中	— —
【林業：AP12】 (3) 自伐林家及び集落組織等の育成						
★自伐林家及び集落組織等の育成	【再掲】 ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行7件 (うち公共事業関係3件) 1月末：325㎡	四万十市 (農林水産課) 自伐林家等	◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている		【再掲】 ○林地残材の搬出促進 ・バイオマス証明書発行 ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業	— * 1,099千円

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
林業分野						
		【再掲】 ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 ・9組織申請 (3月完了予定) 里山保全活動:47.6ha 森林資源利用:3.5ha 森林機能強化:L=700m (作業道整備)				・活動組織要望予定:7組織 支援取組活動:里山保全 (47.7ha) 森林資源利用 (3.8ha) 森林機能強化 (作業道:L=500m) ※予算額は市費上乗せ分
2 供給体制の強化						
1. 加工事業体の生産力等強化						
	【林業:AP13】 (1) 木材製品の生産の拡大・商品力の強化	主な内容 ◎木材製品の生産の拡大・商品力の強化⇒ 連携AP 4				
	【林業:AP14】 (2) 木工製品の生産の拡大・商品力の強化	主な内容 ★木工製品の生産の拡大・商品力の強化⇒ 連携AP 4				
2. 供給体制の効率化						
	【林業:AP15】 (1) 市産材製品ストック施設整備					
	★市産材製品のストック施設整備	四万十市 (農林水産課)	◆市産材製品ストック施設整備→H31:整備			
	【林業:AP16】 (2) 山元選別の促進による流通経費の削減					
	★山元選別の促進による流通経費の削減	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体 製材加工事業者	◆流通の効率化が進み、市産材の流通量が拡大している			
	【林業:AP17】 (3) 木材流通ネットワークの構築	主な内容 ★木材流通ネットワークの構築⇒ 連携AP 1				
3 市産材の利用促進と販売力の強化						
1. 市産材の利用促進						
	【林業:AP18】 (1) 公共建築等での市産材の率先利用	主な内容 ◎公共建築物の木造化・木質化の促進⇒ 連携AP 1				
	【林業:AP19】 (2) 木造住宅の建築促進	主な内容 ◎木造住宅建築への支援、★コーディネート組織の設立⇒ 連携AP 1				
	【林業:AP20】 (3) 木造化、木質化への情報発信、普及、啓発の強化	主な内容 ◎木造化、木質化への情報発信、普及、啓発の強化、★地元消費拡大フェアの開催⇒ 連携AP 1				
2. 木質バイオマス利用促進						
	【林業:AP21】 (1) 林地残材等の搬出の促進	主な内容 ◎林地残材等の搬出の促進⇒ 連携AP 1				
	【林業:AP22】 (2) 木質バイオマス利用設備の普及促進	主な内容 ◎木質バイオマスボイラー等の普及促進⇒ 連携AP 1				
3. 四万十ヒノキブランドの確立と販売力の強化						
	【林業:AP23】 (1) 四万十ヒノキブランドの確立	主な内容 ◎四万十ヒノキのブランド化の推進⇒ 連携AP 4				
	【林業:AP24】 (2) 四万十ヒノキ製品の生産拡大、商品力の強化	主な内容 ◎木材製品の生産の拡大・商品力の強化、★木工製品の生産の拡大・商品力の強化⇒ 連携AP 4				
	【林業:AP25】 (3) 四万十ヒノキ製品の販売力の強化	主な内容 ◎四万十ヒノキ製品の販売力の強化⇒ 連携AP 8				

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要						
						林業分野					
						4 健全な森づくり					
						1. 人と鳥獣の良好・適切な環境づくり					
【林業: AP26】 (1) 鳥獣被害対策											
【再掲】 ◎防護柵の設置と捕獲の促進	【再掲】 ○防護柵設置 (県補助) 補助金243千円 延長 L=734m 3月完了予定 【再掲】 ○国防護柵設置 ・鳥獣被害防止対策総合支援交付金 交付決定額116,399千円 17地区 柵 L=63,510m ・中山間所得向上支援事業費補助金 交付決定額70,000千円 5地区 柵 L=37,371m ・ソフト事業 (オリ) 1,800千円 【再掲】 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 1月末現在 ・捕獲頭数: シカ 1,724頭 (計画: 3,700頭) イノシシ 1,198頭 (計画: 1,800頭) サル 34頭 (計画: 100頭) ハクビシン 281頭 (計画: 400頭) カワウ 340羽 (計画: 500羽)	四万十市 (農林水産課) 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	◆シカの捕獲頭数 H26: 4,446頭 → H31: 6,000頭 H27: 4,055頭 H28: 3,151頭 H29: 2,989頭		【再掲】 ○鳥獣被害防除対策事業 (防護柵設置ほか) 【2,650千円】 【再掲】 ○国防護柵設置 (事業主体: 四万十市有害鳥獣被害対策協議会) ・国へ要望中 【再掲】 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 【63,150千円】 ・鳥獣被害対策実施隊員報酬 (200千円) ・年間計画: シカ 3,300頭 イノシシ 1,500頭 サル 100頭 ハクビシン 400頭 カワウ 500羽 【再掲】 ○くりわな購入補助 【2,727千円】						
【林業: AP27】 (2) 捕獲の担い手確保、育成											
◎捕獲の担い手の確保、育成	○新規狩猟者の確保 市広報7月号、11月号でPR ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助金 利用者11名 ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 募集をしたが希望者なし	四万十市 (農林水産課) 猟友会	◆シカの捕獲頭数 H26: 4,446頭 → H31: 6,000頭 H27: 4,055頭 H28: 3,151頭 H29: 2,989頭		○新規狩猟者の確保 ・広報でPR予定 ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助金 * 360千円 ・年間利用者数見込み: 20人 ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 * 185千円 ・年間利用者数見込み: 5人 【再掲】 ○くりわな購入補助 【2,727千円】						
2. 森のものの活用											
【林業: AP28】 (1) 特用林産物の生産活動の支援とPR											
◎特用林産物の生産活動への支援とPR ★新規就業者の育成	○四万十備長炭事業化への取り組み ・カシを使用した白炭の試作品を製造しながら品質向上を図る	四万十市 (農林水産課)	◆特用林産物 (しいたけ、木炭) 生産量 H25: 48,466kg → H31: 55,000kg H26: 29,784kg H27: 31,178kg H28: 24,823kg		○四万十備長炭事業化への取り組み ・カシを使用した白炭の試作品を製造しながら品質向上を図る						

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
水産業分野					
1 水産資源の回復・生産量UP					
1. 天然水産資源の回復・増殖					
【水産AP 1】					
(1) 漁場環境、資源量等の調査・研究					
<ul style="list-style-type: none"> ◎漁場環境、資源量等の調査・研究 ◎調査結果の広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○高知大学連携事業による調査等 (事業主体: 四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生推進交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) 11月 調査結果報告会 ○四万十川漁業振興協議会補助金 4月～ アユの冷水病調査 10月～ アユ仔魚調査 	<ul style="list-style-type: none"> 四万十市 (農林水産課) 四万十市・高知大学 連携事業推進会議 四万十川漁業振興 協議会 漁業協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> ◆漁場環境や資源量等の継続的な把握と減少要因の分析が進み、漁業者と情報が共有され、天然資源の回復・増殖に向け関係者が連携した取組みが進んでいる 		<ul style="list-style-type: none"> ○四万十川漁業振興協議会補助金 * 150千円 ・アユの冷水病調査
【水産AP 2】					
(2) 生育・漁場環境の保全・整備					
<ul style="list-style-type: none"> ○スジアオノリ生育・漁場環境の保全・整備 ○アユの産卵場の再生と保全管理 ○イセエビ漁礁設置による漁場整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進 ○スジアオノリ漁場整備支援 (事業主体: 四万十川下流漁業協同組合) 2月頃 河川形状整備等を予定 ○イセエビ漁場整備 7月 投石を実施し漁場を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 四万十市 (農林水産課) 四万十川自然再生 協議会 漁業協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> ◆内水面漁業漁獲量 H24:56t→H31:65t H25:66t H26:65t H27:62t H28:37.3t ◆海面漁業漁獲量 H24:30t→H31:35t H25:24t H26:22t H27:17t H28:17t 		<ul style="list-style-type: none"> ○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 - ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進 ○スジアオノリ漁場整備支援 * 400千円 (事業主体: 四万十川下流漁業協同組合) ・河川形状整備等
2. 栽培漁業の推進					
【水産AP 3】					
(1) 効果的な種苗放流の推進					
<ul style="list-style-type: none"> ★効果的な放流技術の確立 ○内水面資源の種苗放流 ○沿岸資源の種苗放流 	<ul style="list-style-type: none"> ○稚アユ等放流補助金 (事業主体: 四万十川中央漁業協同組合) 稚アユ1,325kg ツガニ8,000匹 うなぎ放流25kg ○稚アユ等放流補助金 (事業主体: 四万十川西部漁業協同組合) 稚アユ 850kg アメゴ放流6kg ツガニ1,000匹 うなぎ放流35.38kg ○四万十川下流漁協(独自) 稚アユ40kg うなぎ放流29.36kg ○ヒラメ稚魚放流補助金 (事業主体: 下田漁業協同組合) ヒラメ放流 4,300匹 	<ul style="list-style-type: none"> 四万十市 (農林水産課) 漁業協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> ◆内水面・沿岸資源の種苗放流 H31:維持 		<ul style="list-style-type: none"> ○稚アユ等放流補助金 * 2,500千円 (事業主体: 四万十川中央漁業協同組合) ・稚アユ放流 ・ツガニ放流 ・うなぎ放流 ○稚アユ等放流補助金 * 1,256千円 (事業主体: 四万十川西部漁業協同組合) ・稚アユ放流 ・ツガニ放流 ・アメゴ放流 ・うなぎ放流
【水産AP 4】					
(2) アオサの生産拡大					
<ul style="list-style-type: none"> ★区画あたりの生産拡大 ★新たな漁場の開拓と新規参入の促進 ◎生産・品質管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 環境調査(水温、塩分の測定) ○下流漁協においてアオサ(ヒトエグサ)、スジアオノリの生産 工程(洗い・選別)の均一化と品質管理の徹底 12月 生産工程のマニュアル作成(下流漁協) 	<ul style="list-style-type: none"> 四万十市 (農林水産課) 四万十川漁業振興 協議会 四万十川下流 漁業協同組合 	<ul style="list-style-type: none"> ◆安定した生産量と品質が確保され、入札業者の増加と高値安定が確保されている ◆内水面漁業漁獲量 H24:56t → H31:65t H25:66t H26:65t H27:62t H28:37.3t 		<ul style="list-style-type: none"> 【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 【150千円】 ・栽培環境調査(水温、塩分濃度の計測)

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
水産業分野						
【水産AP5】 (3) スジアオノリの栽培技術の研究と実践						
★スジアオノリの栽培技術の研究と実践		○スジアオノリ自然栽培推進事業 (事業主体：四万十川下流漁業協同組合) 地方創生推進交付金を活用 ・浮かし網による自然栽培 工程表、固定道具等準備作業 平成30年度生産目標400kg 10月～ スジアオノリ種付け作業 11月～ 浮かし網による自然栽培開始 ・養殖網 (縦18m×横1.2m) を延べ780枚河川設置	四万十市 (農林水産課) 四万十市・高知大学連携事業推進会議 四万十川下流漁業協同組合	◆スジアオノリ自然栽培生産量 H31: 5t H28: 0t H29: 0.05t		
3. 地域に根差した資源管理の仕組みづくり						
【水産AP6】 (1) 漁場利用の新たなルールづくり						
★漁場利用のための新たなルールづくり		○エビ資源保護 (実施主体：高知県内水面漁場管理委員会) 9月～3月 県内全河川でてながえび類採捕禁止	四万十市 (農林水産課) 四万十川漁業振興協議会	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取組みが進んでいる		
【水産AP7】 (2) 資源保護のための情報発信の強化						
◎資源保護のための情報発信の強化		【再掲】 ○高知大学連携事業による調査等 (事業主体：四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生推進交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月) 11月 調査結果報告会 ○禁漁期間の周知と資源保護の啓発 ・7月広報 『テナガエビ類の保護について』 周知 ・密漁防止チラシを作成し配布 ・8月広報 『密漁は犯罪です』 各種禁漁期間の周知	四万十市 (農林水産課) 漁業協同組合 高南幡東漁業秩序を守る会 (海面漁業)	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取組みが進んでいる	○禁漁期間の周知と資源保護の啓発 ○高南・幡東地区漁業秩序を守る会負担金 * 80千円	—
4. 担い手の確保、育成						
【水産AP8】 (1) 協業化の促進						
★協業化の促進		四万十川漁業振興協議会に四万十町及び四万十川東部漁協が加入	四万十市 (農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業協同組合や漁業者間の連携が促進され、協業化の動きが生まれている		
【水産AP9】 (2) 新規就業者のための研修・フォローアップ						
★講習会、研修会の開催 ◎受入漁家による研修制度の拡充 ★フォローアップ体制の確立			四万十市 (農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業体験研修の受講者数 H27～H31の5年間で3人 H27: 一人 H28: 一人 H29: 一人 H30: 一人		
2 水産物の加工、販売促進						
1. 水産物の高付加価値化の推進						
【水産AP10】 (1) 今ある商品の磨き上げ		主な内容 ◎品質管理の向上、★商品力の強化⇒ 連携AP5				
【水産AP11】 (2) 新たな商品開発		主な内容 ★未利用資源等の掘起しと利活用⇒ 連携AP5、連携AP10	★新たな商品の企画・開発の支援⇒ 連携AP5			

分野	戦略の柱	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
水産業分野						
2. 販売力の強化と販路拡大						
【水産AP12】 (1) 漁協の販売力の強化	主な内容 ◎漁協の販売機能の強化⇒ 連携AP 1、連携AP 8 ★販路を見据えた漁業⇒ 連携AP 8					
【水産AP13】 (2) ブランド力の強化と販路拡大	主な内容 ◎ブランディングの構築と発信、★産業間連携や広域連携による外商活動、○商談会等販路開拓・拡大の支援⇒ 連携AP 8 ★地元消費拡大フェアの開催⇒ 連携AP 1 ★地産地消証店制度⇒連携AP 2					
3. 魚食文化の磨き上げと発信						
【水産AP14】 (1) 魚食文化の磨き上げ	主な内容 ★魚食文化の磨き上げ⇒ 連携AP10 ★未利用資源等の掘起しと利活用⇒ 連携AP 5、連携AP10					
【水産AP15】 (2) 魚食文化の発信強化	主な内容 ★グルメイベント等での魚食文化の発信⇒ 連携AP11					
3 水産資源を活用した交流の拡大						
1. 体験交流の推進						
【水産AP16】 (1) 魅力ある体験商品づくり						
★体験商品の磨き上げ ★川の体験ガイドブックの作製	○西土佐火振漁体験 (事業主体:四万十川火振り漁体験実行委員会) 9月 河川増水のため中止(申込15名)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合	◆体験・宿泊等のプラン作成件数 H31:10アイテム H27:3アイテム ※漁業体験以外を含む H28:0アイテム H29:0アイテム			
【水産AP17】 (2) 体験教室等の開催						
◎体験教室の開催	○川漁体験学習等 4月 アユ放流体験(西土佐小学校) 5月 アユ放流体験(藤岡、具同小学校) 5月 ヒラメ放流体験 4,300匹(下田小学校) 7月 アユしゃくり漁体験(大用小学校) 9月 アユつかみどり体験(中村幼稚園) ○四万十川ガキ体験(7月) 主催:四万十の日実行委員会 対象:保育園年長児~小学生、保護者(32名参加) 体験内容:カヌー、サップ、小魚とり体験 ○水辺の楽校 主催:四万十の日実行委員会 6~9月 対象:中村小、大用小、東中筋、中筋小、具同小、竹島小、中村南小、川登小の主に小学3~4年生 体験内容:水生生物採取 10月 対象:八束小、下田小の小学3年生、東山小の小学4年生 体験内容:水生生物採取 ○親子川漁体験(8月) 主催:四万十の日実行委員会 対象:小中学生親子(50名参加) 講師:四万十川中央漁協組合 体験内容:投網、アユつかみどり、箱メガネ、アユ炭火焼の試食 提供アユ:合計30kg(四万十川中央漁協組合) ○親子水難防止教室(8月) 主催:四万十川流域住民ネットワーク 幼児、児童と保護者30名が参加	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合 四万十の日実行委員会	◆自然や漁業への関心と資源保護に対する市民意識が向上している		○種苗放流体験 (実施主体:四万十川漁業振興協議会) ・各漁業協同組合の種苗放流時に実施 ○四万十の日実行委員会補助金(対象事業のみ) * 484千円 ・水辺の楽校 274千円 ・四万十川ガキ体験(カヌー、サップ) 150千円 ・親子川漁体験 60千円 (投網漁体験、鮎のつかみどり、試食) ○川漁体験学習等(予定) - ・アユ放流体験(小学校、四万十川中央漁協組合) ・アユしゃくり漁体験(小中学校、四万十川中央漁協組合)	

分野	戦略の柱	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
商工業分野						
	【商工AP11】 (2) 商店街の機能向上					
	○商店街活性化ワークショップ等の開催 ★商店街活性化の核となる人材の確保、育成 ○商店街空間整備 ◎情報発信機能の充実	【再掲】 ○旧土豫銀行跡地開発事業 ・中心市街地商業活性化診断・サポート事業導入 実施設計補助 5,400千円 ・四万十市中心商店街活性化協議会を設立し、拠点施設を活用した中心市街地の活性化策について検討	四万十市 (観光商工課・産業建設課・まちづくり課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街通行者数 (平日) H22~H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日 H30:6,208人/日		【再掲】 ○旧土豫銀行跡地開発事業 【28,778千円】 事業主体：四万十にぎわい商店株式会社 ・施工監理補助 1,423千円 ・建築工事補助：16,614千円 ・備品購入補助：7,253千円 ・雨除壁等撤去工事：3,488千円 ※市が実施主体
	【商工AP12】 (3) 日常の賑わいにつながる仕組みづくり					
	○イベント開催等活性化の仕組みづくり ○個店のサービス向上 ★個性が光る店舗の集積	【再掲】 ○商店街活性化モデル事業 (900千円) 事業主体：中村商工会議所 5月 公家行列及び地域製品の販売PRを支援 ○商店街活性化補助金 (実施主体：各商店街振興組合) 7月 天神橋商店街土曜夜市 (2回) 180千円 (完了) 東下町商店街納涼祭 106千円 (完了) 8月 一条通商店街納涼祭 110千円 (完了) ○チャレンジショップ事業補助金 (2,848千円) (実施主体：天神橋商店街振興組合) チャレンジャー2名：1名が12月開業、1名が30年度中に開業予定 ○小京都ジュニア駅伝 100千円 (1/26実施) (実施主体：小京都ジュニア駅伝大会実行委員会) ○地域資源を活用したまち歩きイベントの実施 (実施主体：四万十市商店街振興組合女性部) 12月 事業補助金 100千円 (12/22実施)	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	◆商店街通行者数 (平日) H22~H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日 H29:5,878人/日 H30:6,208人/日 ◆商店街空き店舗対策補助 件数 H26:2件/年 → H31:5件/年 H27:4件/年 H28:0件/年 H29:3件/年 H30:2件/年 (予定)		【再掲】 ○商店街活性化モデル事業 900千円 【900千円】 (事業主体：中村商工会議所) ・公家行列及び地域製品の販売PRを支援 ○商店街活性化補助金 500千円 * 500千円 (事業主体：各商店街振興組合) ・中心市街地活性化に資する事業 (イベント (夜市) など) への支援 ○小京都ジュニア駅伝 * 100千円 (実施主体：小京都ジュニア駅伝大会実行委員会) ○チャレンジショップ事業補助金 * 2,849千円 (事業主体：天神橋商店街振興組合) 天神橋チャレンジショップTJB ○空き店舗対策事業補助金 * 1,125千円 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援
	【商工AP13】 (4) 空き店舗対策					
	○空き店舗情報の発信強化とマッチング機会の提供 ◎空き店舗改修等の支援	○空き店舗対策事業補助金 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援 補助見込 2件 746千円	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合			【再掲】 ○空き店舗対策事業補助金 【1,125千円】 ・空き店舗入居者に対する店舗改修費への支援
2. 創業や経営革新への支援強化						
	【商工AP14】 (1) 経営指導などサポート体制の強化					
	★経営指導などサポート体制の強化	○商工業者経営改善普及事業 (事業主体：中村商工会議所、西土佐商工会) 商工会議所、商工会で策定された「経営発達支援計画」、市が策定した「創業支援計画」(計画期間H27~H29)に基づき、市、商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営についてトータルサポート及びワンストップ窓口化 ○生産性特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定 生産性向上特別措置法に基づき、市内に事業所を有する中小企業者が策定した「先端設備等導入計画」を認定する。認定を受けた中小企業者は、固定資産税の特例措置等の支援策を受けることが可能。	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H26:8件/年 → H31:45件/年 H27:38件/年 H28:37件/年 H29:26件/年		○商工業者経営改善普及事業 (事業主体：中村商工会議所、西土佐商工会) ・商工会議所、商工会で策定された「経営発達支援計画」、市が策定した「創業支援計画」に基づき、市、商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営についてトータルサポート及びワンストップ窓口化 ○中小企業振興資金保証料補給 * 847千円

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
商工業分野						
【商工AP15】 (2) 創業や経営革新に意欲ある事業者 (人材) の育成、スキルアップ						
○事業者の育成、スキルアップ		【再掲】 ○チャレンジショップ事業補助金 (2,849千円) (実施主体: 天神橋商店街振興組合) チャレンジャー2名: 1名が12月開業、1名が30年度中に開業予定 【再掲】 ○四万十市地域商品研究会 (事業主体: 四万十市地域商品研究会) 勉強会等を開催し事業者のスキルアップを行う 会員等:13事業所	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H26: 8件/年 → H31:45件/年 H27:38件/年 H28:37件/年 H29:18件/年		【再掲】 ○チャレンジショップ事業補助金 (事業主体: 天神橋商店街振興組合) 天神橋チャレンジショップTJB 【2,849千円】
3 中山間地域の商業機能の確保						
1. 小さな (田舎) ビジネスの推進						
【商工AP16】 (1) 集落、小グループが取り組むコミュニティビジネス等の発掘、育成		主な内容 ◎事業者、地域等の提案を拾い上げる体制強化、◎地域ならではのアイデア、資源を活かした商品開発⇒ 連携AP 6				
【商工AP17】 (2) 地域の人、もの、コトの発信		主な内容 ◎地域の人、もの、コトの発信⇒ 連携AP 8				
【商工AP18】 (3) ビジネスの拠点づくり		主な内容 ◎拠点ビジネスの推進、◎直販所の拠点機能の強化⇒ 連携AP 2 ★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化⇒ 連携AP 2、連携AP 8	★新食肉センターを核とした地域産業の振興⇒ 連携AP 2、連携AP 3			
4 企業誘致						
1. 情報通信関連産業の誘致促進						
【商工AP19】 (1) 誘致に向けたリサーチの徹底						
★誘致にかかるリサーチ		○企業誘致対策 ・誘致企業訪問 (東京、徳島) 3月 当市でシェアオフィス拡充計画のある企業との協議	四万十市 (観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31: 2社 H27: 0社 H28: 0社 H29: 0社		○企業誘致対策 ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ * 111千円 誘致企業訪問旅費 (東京、徳島)
【商工AP20】 (2) 誘致活動の推進						
◎特色ある誘致情報の発信 ★支援メニューの創設・受入体制づくり ◎県と連動した誘致活動の推進		○コールセンター等立地促進事業費補助金 【再掲】 ○企業誘致対策 ・誘致企業訪問 (東京、徳島) 3月 当市でシェアオフィス拡充計画のある企業との協議	四万十市 (観光商工課・農林水産課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31: 2社 H27: 0社 H28: 0社 H29: 0社 ◆既誘致企業での雇用者数 H31:20名増 H27:20名 (20名増/年) H28:22名 (2名増/年) H29:17名 (3名増/年) ◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31: 1社 H27: 0社 H28: 0社 H29: 0社		【再掲】 ○企業誘致対策 ・県と連携した誘致企業の情報収集、アプローチ * 1,500千円 ○コールセンター等立地促進事業費補助金 * 1,500千円 ・誘致企業 (: HTC四万十センター) への支援 雇用奨励金 (正社員1名、契約社員1名分)
【商工AP21】 (3) 遊休施設等を活用したシェアオフィス等の整備						
★シェアオフィス等の整備		【再掲】 ○企業誘致対策 ・誘致企業訪問 (東京、徳島) 3月 当市でシェアオフィス拡充計画のある企業との協議	四万十市 (観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31: 2社 H27: 0社 H28: 0社 H29: 0社		○市内の遊休公共施設等を活用しシェアオフィスを整備するための取り組みを実施予定

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
観光分野						
1 滞在型の観光地づくり						
1. 地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり						
【観光AP 1】 (1) 観光リサーチの徹底	主な内容 ◎観光マーケティングリサーチ、★四万十市のどこが好きキャンペーンの実施⇒ 連携AP 7					
【観光AP 2】 (2) 今ある観光商品の磨き上げ	主な内容 ◎観光商品としての検証と磨き上げ、○専門家を活用した観光商品の磨き上げ⇒ 連携AP 7					
【観光AP 3】 (3) 新たな観光商品づくり	主な内容 ◎観光商品づくりワークショップの開催、★異業種交流会の開催、◎地域の産業と連携した新たな観光商品づくり、★閑散期のメニュー開発⇒ 連携AP 7					
【観光AP 4】 (4) 食の魅力を活かした観光振興	主な内容 ○食の魅力を活かした観光地づくり、○食の発信・普及イベント等の開催⇒連携AP11					
2. 広域連携による周遊観光の推進						
【観光AP 5】 (1) 広域連携による周遊観光の推進	主な内容 ○周遊観光プランの造成・発信及び販売⇒ 連携AP 7 ○広域連携によるキャンペーンの展開⇒ 連携AP 9					
2 観光商品の外商の推進						
1. 観光商品のセールス及び情報発信の強化						
【観光AP 6】 (1) 観光商品のセールス強化	主な内容 ★営業力のある人材、組織の育成、◎旅行会社への営業活動の促進、○旅行商品商談会等への出展、★海外への営業活動の促進⇒ 連携AP 9					
【観光AP 7】 (2) 広報・プロモーションの強化	主な内容 ○多様な媒体を活用した広報活動の強化、★ターゲットに合わせたプロモーションの展開⇒ 連携AP 9 ★一元的な情報発信の促進⇒ 連携AP 8、連携AP 9、連携AP11 ◎産業間連携や広域連携による誘客 (PR) 活動⇒ 連携AP 9、連携AP11					
3 おもてなしの向上						
1. おもてなし環境の整備						
【観光AP 8】 (1) 四万十川流域観光の拠点施設の整備、機能強化						
◎拠点施設の拡充、機能強化	○入田ヤナギ林整備 7～9月 草刈、刈草収集、焼却 10月 耕運 11月 木取り、周辺整備 【再掲】 ○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト 企業版ふるさと納税事業を活用 8～9月 整備予定箇所の現地確認 1～3月 ガードパイプ設置、路面補修 (景観を阻害する樹木の伐採については本年度見送り) 【再掲】 ○志国高知幕末維新博での取組み(H29. 3開幕) 4月～ 市内循環(四万十トロリー)バスの増便・川バスの運行 ・観光ガイドミーティング(10回) 4月3回、5月2回、6月1回、8月1回、10月1回、12月1回、 1月1回 ・お試しガイド実施(5回) 7月1回、8月1回、10月2回、12月1回 ○観光拠点施設整備の検討 10月～ カヌー館オートキャンプ場整備へ向けての協議	四万十市(観光商工課) 四万十市観光協会	◆公共観光施設等利用者数 H26:172,370人 → H31:180,000人 H27:189,788人 H28:185,492人 H29:174,927人			
				○自然体験型観光資源強化事業 * 127,133千円 ・かわらっこ駐車場整備 ・川バス運行 ・四万十ひろばオートキャンプ場整備 など ○四万十いやしの里管理運営 * 6,508千円 ・施設等修繕ほか ○四万十川学遊館管理運営 * 20,342千円 ・学遊館玄関前池他修繕 ・管理運営 ○かわらっこ管理運営 * 2,957千円 ・施設等修繕ほか ○入田ヤナギ林整備 * 4,136千円 【再掲】 ○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト 【10,000千円】 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・四万十川佐田沈下橋右岸から勝間沈下橋右岸の市道等を整備 ○キャンプ場ほか観光公衆トイレ管理運営 * 6,909千円 ○四万十パーク管理 * 2,918千円 ・植栽管理ほか ○カヌー館関連施設等管理運営 * 8,165千円 ・カヌー館、四万十ひろば、ふるさと案内所等 ○岩間四万十茶屋維持管理補助金 * 110千円 ○四万十楽舎管理運営 * 2,537千円 ○ホテル星羅四万十管理運営 * 2,600千円 ・施設修繕等1,893千円 ・備品購入等707千円 ○天体観測所施設運営1,572千円 * 1,835千円		

分野	戦略の柱	平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
観光分野						
	【観光AP9】 (2) 二次交通の充実					
	○二次交通の運行形態の見直し・拡充と情報発信	○四万十川バス運行 4～9月 94日運行 (中村駅⇄沈下橋⇄江川崎駅) 土、日、祝日及びGW、夏休み(7/21～8/31の全期間) 10～3月 40日運行予定 (中村駅⇄沈下橋⇄江川崎駅) 10月・11月及び3月の土・日・祝日を基本とし春休み(3/15～3/31の全期間) ○歴史観光周遊バスの運行 GW、夏休み、冬休み、3月(土日及び21、22日) 79日運行 中村駅⇒宿泊施設⇒郷土資料館⇒佐田沈下橋⇒学遊館⇒中村駅 ○しまんと・あしずり号 GW、夏休み、土日祝日等の207日間運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) ○おもてなしタクシーの運行(通年) 随時運行 ○レンタサイクル(通年) 随時貸し出し ※H30年度より電動アシスト付き自転車10台増	四万十市(観光商工課) 四万十市観光協会 幡多広域観光協議会	◆二次交通利用者数 H26:5,718人 → H31:10,000人 H27:5,896人 H28:6,311人 H29:6,955人		【再掲】 ○四万十川バス運行(自然体験型観光資源強化) 【5,527千円】 ・中村駅～江川崎駅間 GW、夏・春休み、土日祝日の135日間(1日2便)運行 ※12、1、2月は運行しない。 ○歴史観光周遊バスの運行(歴史観光資源等強化) * 4,792千円 ・市街地及び郷土資料館、周辺観光地を結ぶ周遊バス ○周遊観光バスしまんと・あしずり号運行(県事業) * 1,500千円 ・GW、夏休み、土日祝日等の運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市) ○おもてなしタクシーの運行(通年) — ○レンタサイクル(通年) —
	【観光AP10】 (3) 周遊しやすい環境の整備					
	★観光案内機能の充実 ○コーディネート機能の向上 【再掲】 ★一元的な情報発信の促進	○四万十市観光協会の案内機能の充実 ・i観光所の充実(カテゴリー2) ・事務所移転による利便性の向上 【再掲】 ○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 ・観光プロモーション動画の効果的な発信 ウェブサイトやSNSなどの利用者を、市プロモーションビデオ掲載サイトへ誘導しPRを行う 6月 プロモーションビデオ広報PR業務委託契約 7～12月 情報発信 動画アクセス数22,580回(12月末) ・四万十市ロゴPR等 3月 トラベルガイド「d design travel」に広告掲載	四万十市(観光商工課・企画広報課) 四万十市観光協会 幡多広域観光協議会	◆周遊しやすい環境づくりが進み観光誘客につながっている ◆外国人観光入込客数 H26:1,341人 → H31:5,000人 H27:1,971人 H28:3,633人 H29:4,146人	【再掲】 ○観光客誘致宣伝活動 【3,293千円】 地方創生企業版ふるさと納税事業を活用 ・四万十市観光ガイドブック等作成、送付など ○地域おこし企業人交流プログラム * 8,000千円 ・ANA総合研究所から1名招致 体験メニュー等のコーディネート、情報発信、おもてなし向上「接客研修」開催 ほか 【再掲】 ○シティプロモーション推進事業 【1,082千円】 地方創生推進交付金を活用 ・エコバッグリニューアル、PRツール作成等	
	2. おもてなしサービスの充実					
	【観光AP11】 (1) 観光地としての市民意識の醸成と浸透					
	★市民の参画意識の醸成	○土佐の小京都中村550年祭(H30.3月開幕) 4月 薪能「関白一條教房」上演 5月 土佐一條公家行列(蹴鞠の招致) 6月 写真展 7月 夜神楽・合同結婚式 9月 小京都ドミノチャレンジ 不破八幡宮・「神様の結婚式」記念イベント 11月 招待高校野球 550年祭記念提灯行列、幡多の昭和VSフィギア展 一條大祭少年相撲大会 12月 ふるさと発見!四万十の子ども研究発表会 ロックバランシングin四万十 2月 550年祭記念メッセージ記録事業 フィナーレ・セレモニー(郷土博物館フルオープンと併催)	四万十市(観光商工課) 四万十市観光協会	◆観光地であることを広く市民が認識し、おもてなし意識と地域の魅力を伝えられる市民が増えている	【再掲】 ○地域おこし企業人交流プログラム 【8,000千円】 ・ANA総合研究所から1名招致 体験メニュー等のコーディネート、情報発信、おもてなし向上「接客研修」開催 ほか	
	【観光AP12】 (2) リピーター確保に向けた取り組み(特典の充実)					

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
観光分野						
	◎おもてなし感が感じられる仕組みづくり	【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 ・食の発信冊子づくりに向けた検討 12、2月 (予定) 食文化の磨き上げ研究会開催 3月 食の発信冊子づくり	四万十市 (観光商工課) 四万十市観光協会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆商工業分野等との連携による多様な仕組み、サービスが生まれている		○リピーターバッジの作製、配布 * 175千円
4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成						
1. 観光関連事業者のスキルアップ						
	【観光AP13】 (1) 観光関連組織の役割分担と組織力の強化					
	○役割分担の明確化とスキル・組織力の強化 ★コーディネーターの育成	○観光案内所運営 (観光協会) ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向 4月～ 観光案内所 (観光協会) 窓口での観光客アンケート 5、8月 観光動向アンケート調査 (沈下橋など) ・旅行商談会 (国内) 出展 (4、5、10、11、1月) ・旅行商談会 (国外 (バンコク、台湾)) 出展 (11、1月) ○四万十市観光ガイドLOILOILまんと ・4月設立 構成員 (市民7人、観光協会1人で組織) ・ツアーモデルコース作成、年度末受入予定 ○幡多広域観光協議会 6月 協議会社員総会開催 (事業計画など) 4月～6月 田舎暮らし、カヌー体験受入 10～11月、3月 田舎暮らし体験受入 10～3月 商談会、セールス活動 10～2月 視察受入 (旅行会社等)、先進地視察 10、11、2月 研修会、講習会への参加、イベント出展・PR ○外国人観光客受入研修IN四万十市 7月 基礎講座 (訪日外国人の傾向と対策、受入態勢の整備) 観光・宿泊施設向け受入セミナー (コミュニケーション、取組事例) 11～3月 個別研修	四万十市 (観光商工課) 四万十市観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル (商品企画、営業力等) が向上し、「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている		【再掲】 ○観光案内所運営補助金 (四万十市観光協会) 【7,200千円】 ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向等 【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金 【8,610千円】 (事業主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用 ・外部研修会参加による職員のスキルアップ
	【観光AP14】 (2) 異業種との交流・連携の促進	主な内容 ★異業種交流会の開催⇒ 連携AP 7				
2. 観光人材の育成、確保						
	【観光AP15】 (1) 地域の観光リーダーの育成					
	★地域のキーマンの発掘、育成	○四万十市体験型観光受入研究会 8月 総会開催 2月 県アドバイザー研修 大川筋、入田、後川、藤岡、八東、竹島、富山地区、西土佐地域の受入家庭50戸を対象に実施予定 3月 ほんもの体験フォーラム (長崎県) への参加 【再掲】 ○四万十市観光ガイドLOILOILまんと ・4月設立 構成員 (市民7人、観光協会1人で組織) ・ツアーモデルコース作成、年度末受入予定	四万十市 (観光商工課・関係課) 四万十市観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆地域で核となる観光人材が育成されている ◆体験型観光受入研究会加入団体数 H26: 23団体 → H31: 30団体 H27: 23団体 H28: 23団体 H29: 23団体		【再掲】 ○地域おこし協力隊経費 (5名) 【18,712千円】 ・地域振興 (中村地域) 富山地区、大川筋・後川地区 (西土佐地域) 須崎・大宮地区、奥屋内地区、 ・農業振興 (西土佐地域) 【再掲】 ○四万十市体験型観光受入研究会 ・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭募集、研修ほか

分野		平成30年度の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (直近)	計画の追加・修正	平成31年度当初予算 (取り組み) 概要
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
観光分野						
		【再掲】 ○外国人観光客受入研修IN四万十市 7月 基礎講座 (訪日外国人の傾向と対策、受入態勢の整備) 観光・宿泊施設向け受入セミナー(コミュニケーション、取組事例) 11~3月 個別研修				【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金 【8,610千円】 (事業主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用 ・体験事業者、田舎暮らし体験受入家庭を対象とした研修会の開催
	【観光AP16】 (2) 体験インストラクター、ガイドの育成					
	○インストラクター、ガイドの育成	○四万十市体験型観光受入研究会 田舎暮らし体験後の反省会 (随時) など 【再掲】 ○志国高知幕末維新博での取組み (H29. 3 開幕) ・観光ガイドミーティング (10回) 4月3回、5月2回、6月1回、8月1回、10月1回、12月1回、 1月1回 ・お試しガイド実施 (5回) 7月1回、8月1回、10月2回、12月1回 【再掲】 ○四万十川カヌー・サップ協議会 6月 設立 (体験型アクティビティを提供する事業者で組織) 9月 四万十川リバーフェスティバル開催 10月~ ガイドマニュアルの作成 【再掲】 ○幡多広域観光協議会 4月~6月 田舎暮らし、カヌー体験受入 10~1月、3月 田舎暮らし体験受入 10、11、2月 研修会、講習会への参加、イベント出展・PR	四万十市 (観光商工課) 四万十市観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆観光人材の育成、レベルアップが図られている		【再掲】 ○地域おこし企業人交流プログラム 【8,000千円】 ・ANA総合研究所から1名招致 体験メニュー等のコーディネート、情報発信、おもてなし向上「接客研修」開催 ほか 【再掲】 ○四万十市体験型観光受入研究会 ・体験プログラム等の磨き上げ、開発、家庭募集、研修ほか 【再掲】 ○幡多広域観光協議会負担金 【8,610千円】 (事業主体: 幡多広域観光協議会) 地方創生推進交付金を活用 ・体験事業者、田舎暮らし体験受入家庭を対象とした研修会の開催
	【観光AP17】 (3) 将来の担い手の発掘・育成					
	★ボランティアの受け入れ ★インターンシップの受け入れ		四万十市 (観光商工課) 四万十市観光協会	◆観光の担い手確保につながっている		